

受験番号		氏 名		クラス		出席番号	
------	--	-----	--	-----	--	------	--

試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2014年度 第 1 回 全統マーク模試問題

公 民 [現代社会 倫理 政治・経済] (2科目 200点 120分)
[倫理, 政治・経済] (1科目 100点 60分)

2014年 5 月実施

注 意 事 項

- 1 解答用紙は、「地理歴史・公民(第1解答科目)」と「地理歴史・公民(第2解答科目)」の2種類があります。1科目のみを選択する場合は、**地理歴史・公民(第1解答科目)解答用紙**に解答しなさい。

解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。特に、解答用紙の**解答科目欄**にマークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となることがあります。

解答科目については、間違いのないよう十分に注意し、マークしなさい。

- 2 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出 題 科 目	ページ	選 択 方 法
現 代 社 会	4～39	左の4科目及び地理歴史B(別冊子)の3科目のうちから、1科目又は2科目 [*] を選択し、解答しなさい。 [*] 2科目を選択解答する場合は、「倫理」と「倫理, 政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理, 政治・経済」の組合せ受験はできません。
倫 理	40～77	
政治・経済	78～103	
倫理, 政治・経済	104～139	

なお、第1解答科目を指定している大学については、第1解答科目の成績を用いて合格可能性評価を行うので、注意して選択しなさい。

この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。

河合塾



現代社会

(解答番号 ~)

第1問 現代社会の授業での担当教師の次の発言を読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 22)

お疲れ様でした。授業では①近代民主主義の思想や、②近代民主主義を支える政治原理について説明しました。そして、③今日の世界に目を転じ、民主主義が直面している困難な状況についてもみてきました。それを受けて民主主義を維持・発展させていくために大切なことは何か考えてみようということで、A班とB班に報告してもらい、議論をしてきましたが、このあたりで、まとめたいと思います。

A班もB班も、④統治の仕組みとしての民主主義がうまく機能するためには、市民が公共の問題に関心をもって⑤政治に直接参加し、協議や討論を行うことが大切であるという点では同じ考えでした。両班の主張の違いは、A班が、公共の問題についての協議・討論を通じて市民の間で合意を形成し、それが国家レベルの意思決定に影響を与えることの大切さを説くのに対し、B班は、合意形成を目指すことには批判的で、むしろ、市民が多様な立場から議論を戦わせ、様々な問題提起を行うことが政治の民主化につながる、ということを強調した点にあります。

A班の意見に対しては、合意はそれ以外の意見を排除することになるので、合意形成の重視は⑥多数者の専制につながるのではないかという意見や、また、価値観が多様化した今日、合意の成立自体、無理なのではないかという疑問が出されました。B班の意見に対しては、政治は公共の秩序の形成とその維持にかかわる活動なのだから、それらに関して何らかの⑦決定を行うことが不可欠なはずなのに、いつまでも議論しているだけでは意味がないではないか、という批判がありました。

民主主義は今日、様々な困難にさらされています。それでもなお、望ましい政治の仕組みとして民主主義にとって代わるものをもたない私たちは、民主主義が有効に機能する手立てを、今後も考えていかなければならないと思います。そこで、次の授業からは、⑧日本の統治機構をみていきたいと思います。

問1 下線部㉔に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 1

- ① クック(コーク)は、法の支配を重視する立場から、国王は神以外の何ものにも拘束されることはないと唱えた。
- ② リンカーンは、「人民の、人民による、人民のための政治」という言葉を用いて、民主主義の理念を示した。
- ③ ロックは、「万人の万人に対する闘争」という状態に至る自然状態から脱却するために、絶対的権限をもつ国家を設立しなければならないと考えた。
- ④ ルソーは、一般意志を実現するために、人民の代表者からなる議会に立法権を与えるべきであると主張した。

問2 下線部㉕の一つに権力分立の原理がある。この原理にのっとって、権力相互間の抑制と均衡を図ろうとする制度や政策の例として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 2

- ① 直接請求の制度を採用し、住民に条例の制定・改廃の請求権を認めること。
- ② 連邦制を敷き、中央政府と地方政府の間で権限の分割を図ること。
- ③ 二院制を採用し、両議院の議決の一致を議案の成立条件とすること。
- ④ 弾劾裁判の制度を導入し、議会に裁判官を弾劾する権限を認めること。

現代社会

問3 下線部㉔に関連して、各国の政治状況に関する記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 3

- ① イランでは、イスラム教の宗教指導者が国家の最高指導者となる政治体制がとられている。
- ② イスラエルは、パレスチナ解放機構(PLO)との間で暫定自治協定を締結したが、パレスチナを国家として承認していない。
- ③ 中国では、自治権の拡大や独立の動きがみられる新疆ウイグル自治区^{シンチヤン}において、警察とウイグル人との衝突が激化し、死者が出る事件が起きた。
- ④ 北アイルランドでは、イギリスからの分離独立を目指す勢力とイギリス政府との間で紛争が続いており、収束のめどは全く立っていない。

問4 下線部㉕に関連して、議会制民主主義をとる国では、立法機関が行政機関をけん制する行政監督の仕組みが採用されている。この仕組みの例として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① アメリカでは、大統領は拒否権をもっており、連邦議会で可決した法律案に対する署名を拒むことができる。
- ② イギリスでは、内閣は下院解散権をもっており、国民の信を問うために下院を解散することができる。
- ③ 日本では、国会の各議院は国政調査権をもっており、行政権の行使について調査するため、関係者を証人として喚問することができる。
- ④ フランスでは、国民から直接選挙された大統領は首相の任命権をもっており、内閣の首長を自らの意思で選ぶことができる。

問5 下線部㉔に関連して、直接民主主義的な制度として日本国憲法で採用されている仕組みに関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

- ① 最高裁判所の裁判官に対しては国民審査制度があり、投票者の過半数が罷免を可とした場合には罷免される。
- ② 国会の各議院の議員は、同時に他方の議院の議員となることはできない。
- ③ 裁判の対審及び判決は公開の法廷で行われることになっており、国民は裁判を傍聴できる。
- ④ 重要な条約への加入は、国会が国民にこれを発議し、国民投票でその過半数の承認を経なければならない。

問6 下線部㉕に関連して、民主主義的な政治体制をとる国のなかには、議会における多数派の暴走を抑制したり議会に少数意見を反映させたりする仕組みを導入している国や、少数者の権利を擁護したり文化的な差異に配慮したりする政策を採用している国がある。そうした事例に関する記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 6

- ① アメリカでは、連邦議会が制定した法律の憲法適合性を審査する権限が連邦裁判所に認められている。
- ② 日本では、民意の忠実な反映を図るため、国会議員の選挙では、選挙区制より比例代表制の方に多くの議席が割りあてられている。
- ③ スイスでは、各地方の地理的・歴史的な理由から使用言語が分かれているため、ドイツ語、フランス語など、複数の言語が公用語とされている。
- ④ カナダでは、民族相互の共存を図るため、多文化主義が国の政策として採用されている。

現代社会

問7 下線部⑧に関連して、A、B、Cの3人の間で、夕食後のデザートとして、イチゴ、ミカン、リンゴのうちのいずれにするかを多数決で決めることにした。次の表はA、B、Cの3人がデザートとして希望する順位を示したものである。イチゴとミカンを比べると、イチゴの方がよいと考える人はAとCの2人で、ミカンの方がよいと考える人はBの1人なので、イチゴがデザートとして選ばれるべきである。このようにして定める多数決に従ってミカンとリンゴ、リンゴとイチゴについても多数決をとった場合、デザートを一つに確定することができるだろうか。この多数決の結果として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 7

	第一希望	第二希望	第三希望
A	イチゴ	ミカン	リンゴ
B	ミカン	リンゴ	イチゴ
C	リンゴ	イチゴ	ミカン

- ① ミカンとリンゴとの間ではミカンが選ばれ、イチゴとミカンとの間ではイチゴが選ばれ、リンゴとイチゴとの間ではリンゴが選ばれるので、多数決で最も望ましいデザートを決めることはできない。
- ② ミカンとリンゴとの間ではミカンが選ばれ、イチゴとミカンとの間ではイチゴが選ばれ、リンゴとイチゴとの間ではイチゴが選ばれるので、多数決で最も望ましいデザートを決めることができる。
- ③ ミカンとリンゴとの間ではリンゴが選ばれ、イチゴとミカンとの間ではイチゴが選ばれ、リンゴとイチゴとの間ではリンゴが選ばれるので、多数決で最も望ましいデザートを決めることはできない。
- ④ ミカンとリンゴとの間ではリンゴが選ばれ、イチゴとミカンとの間ではイチゴが選ばれ、リンゴとイチゴとの間ではリンゴが選ばれるので、多数決で最も望ましいデザートを決めることができる。

問 8 下線部⑨に関する記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ
選べ。

8

- ① 国会をいくつかの会期に分ける会期制は導入されておらず，国会は一年を通じて常時開催されている。
- ② 裁判には三審制が採用されており，第一審は必ず地方裁判所で行われる。
- ③ 行政委員会は，国には設置されているが，地方公共団体には設置されていない。
- ④ 都道府県知事・市町村長だけでなく，都道府県議会議員・市町村議会議員も，住民による直接選挙で選出される。

第2問 次の文章を読み、下の問い(問1～5)に答えよ。(配点 14)

今日、地球環境は重大な危機に瀕している。温暖化、オゾン層破壊、酸性雨、熱帯林破壊、砂漠化などの問題は、いずれも人類の生存にかかわるものである。これら国境を越えた広がりをもつ①地球環境問題の解決には、国際的な協力が不可欠である。そのため、これまでも国際連合(国連)を中心に様々な取り組みが行われてきたし、今後もその重要性はさらに高まるであろう。

しかし、環境問題の解決をそうした②国際的取組みにすべて^{ゆだ}委ねればよいと考えるのは適切とは言えない。これまでの③私たちのライフスタイルには地球環境に過度に負荷をかけているものが少なくない。例えば、コンビニエンス・ストアでガムや缶ジュースなど大してかさばらないものを買ったときでも、レジ袋に入れて手渡されると、私たちはそれを何の気なしにそのまま受け取り、不要になると何の気なしに袋を捨てる。そうして捨てられた無数の袋が燃やされ、二酸化炭素が大量に排出される。

このように、私たちのライフスタイルは地球環境のあり方に大きくかかわっている。地球環境問題の解決には、④現状を十分に把握しつつ、各人が「地球規模で考え、足元から行動を(think globally, act locally)」という⑤理念を心に留めて、自らの行動を選択することが大切なのである。

問 1 下線部㉔に関する記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

9

- ① 地球の温暖化が進行すると、海面上昇により水没する地域が拡大すると予想されており、環境難民の発生が懸念されている。
- ② フロンガスによってオゾン層が破壊され地表付近の紫外線照射量が増大すると、皮膚ガンや白内障の患者が増加することが懸念されている。
- ③ 硫黄酸化物や窒素酸化物に起因する酸性雨によって、湖沼の生物の死滅や森林の枯死などの被害が生じている。
- ④ 東南アジアでは、輸出向けに過度の伐採が行われたため、熱帯雨林地帯で砂漠化が広範に進行している。

問 2 下線部㉕に関連して、環境問題に関する国際的取組みについての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

10

- ① 生物多様性条約は、生物多様性の保全や遺伝資源の利用から生じる利益の公正かつ衡平な配分などを目的としている。
- ② 京都議定書では、先進国だけでなく発展途上国に対しても温室効果ガスの削減数値目標を課している。
- ③ 水俣条約は、水俣病の原因となったカドミウムの人為的な排出や放出から人の健康や環境を保護することを目的としている。
- ④ 国連環境開発会議の合意を受けて、環境保全のための国際協力を推進することを目的として国連環境計画(UNEP)が設立された。

現代社会

問3 下線部㉔に関連して、私たちのライフスタイルと環境問題やエネルギー・資源問題との関係に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

11

- ① 都市部での通勤・通学に電車やバスなどの大量輸送機関を利用することをさけ、自家用乗用車を利用すると、輸送のための一人あたりのエネルギー消費量を減少させることができる。
- ② テレビなどの家電製品を使用しないときには、主電源を切るよりも常時待機状態にしておく方が、消費電力量を減少させることができる。
- ③ 食事の際にいつも紙やプラスチックでできた使い捨ての食器を利用すると、リデュースを促進させることにつながる。
- ④ 白熱灯や蛍光灯をLEDライト(LED電球、LED蛍光灯)に交換すると、消費電力量を減少させることができる。

問4 下線部㊤に関連して、次の文章は、自然事象や社会事象についての理解を深めるための方法に関する記述である。文章中の **A** ~ **C** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、下の①~⑧のうちから一つ選べ。 **12**

自然界や社会で起きている様々な事象や動向を知るための方法の一つに社会調査がある。これには、例えば、関係者などから直接話を聞く **A** や、用意した質問用紙の所定欄に回答を記入してもらいそれを集計する **B** などがある。また、同じテーマで何人かの人に講演や報告を行ってもらい、その後、講演や報告を行った人の間で討論したり、司会者や聴衆の質問に応じたりする **C** に参加することも、そうした事象をより深く理解するために有効である。

- ① A KJ 法 B アンケート
C シンポジウム
- ② A KJ 法 B アンケート
C ブレインストーミング
- ③ A KJ 法 B ディスカッション
C シンポジウム
- ④ A KJ 法 B ディスカッション
C ブレインストーミング
- ⑤ A インタビュー B アンケート
C シンポジウム
- ⑥ A インタビュー B アンケート
C ブレインストーミング
- ⑦ A インタビュー B ディスカッション
C シンポジウム
- ⑧ A インタビュー B ディスカッション
C ブレインストーミング

現代社会

問 5 下線部㉔に関連して、環境保護の理念や運動に関する記述として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13

- ① 開発から自然環境を守るために、私有地を国有化して国立公園にするという国民的な運動は、ナショナルトラスト運動と呼ばれる。
- ② 日本では、自然を破壊するおそれのある開発事業を許可した知事を相手取って、そこに生息する動物を原告に加えた訴訟が起こされたことがある。
- ③ 将来世代のことを考慮に入れずに環境を利用して、現在の必要を満たす開発を行うべきであるとする理念は、「持続可能な開発」と呼ばれる。
- ④ ボールディングは、「宇宙船地球号」という理念をかけた、宇宙に存在する資源を積極的に利用することで地球環境を保全すべきであると説いた。

(下書き用紙)

現代社会の試験問題は次に続く。

第3問 企業活動に対する政府の規制や介入の是非についてディベートをしている高校生(A, B)による次の会話文を読み、下の問い(問1～8)に答えよ。

(配点 22)

A：現代の経済のなかで，㉑大企業の行動がもたらす弊害には目に余るものがあります。政府はもっと大企業の行動を規制し，消費者の利益を守るべきだと思います。

B：抽象的な大企業性悪論を展開しても，あまり意味はないと思います。もっと，具体的な問題点を指摘して議論すべきです。

A：それならば，市場の寡占化の弊害を挙げることができます。寡占は㉒市場メカニズムの働きを妨げ，資源の効率的な配分を阻害します。㉓市場の失敗の一つとして教科書にも書かれています。

B：たしかに，㉔寡占市場には問題点もありますが，近年の動向は以前と比べて大きく変化しているところもあります。むしろ，政府が企業や市場に対して介入を強めると，かえって経済の効率性が失われることになるのではないのでしょうか。

A：そういう考えに基づいて㉕「小さな政府」を目指す動きは，1980年代から先進国の間に広がってきました。しかし，その結果，「格差社会」が生まれたり，大きな景気変動が起こったりしています。最近の日本をみても，景気回復にかかわる積極的な㉖財政政策の発動に対して，大きな期待が寄せられています。

B：景気回復を言うなら，むしろ規制緩和や減税によって㉗企業活動を活性化させていく方が，はるかに効果的だという指摘があるんじゃないですか。

A：でも，利益を追い求める企業が，本当に社会的利益に結び付く活動をするのか疑問です。バブルが崩壊したあとの日本でも，景気回復を遅らせた原因は，リストラを進めるなど企業の自己本位の行動だったと思います。

B：しかし，㉘企業も市民社会の一員として行動する責任があるという考え方が，だんだん広がっています。わたしは，政府が強制しなくても，企業が自主的にこうした方向に向かうことを期待します。

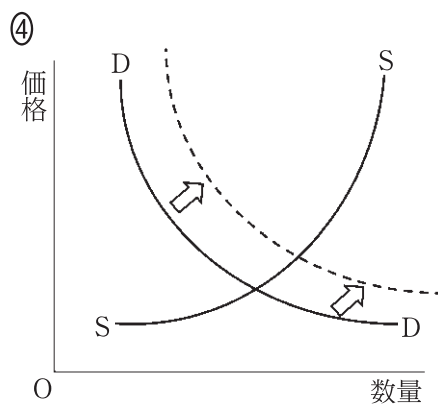
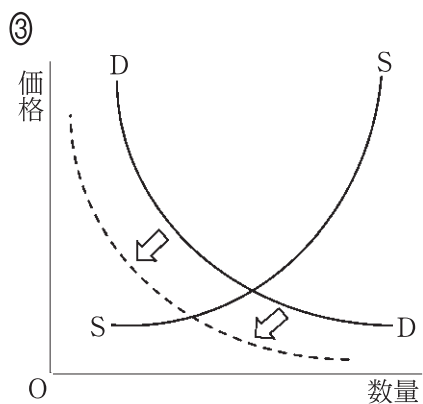
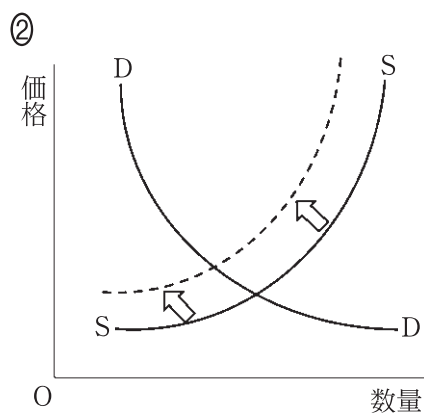
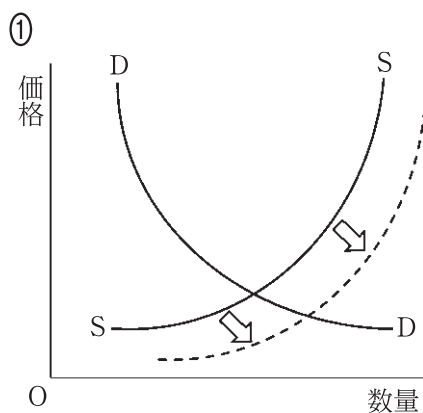
問1 下線部②に関連して、日本の企業にかかわる法律や制度についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

14

- ① 大企業のなかには、コーポレートガバナンス(企業統治)を強化するために、社外取締役を置くものもある。
- ② 独占禁止法は、金融持株会社を含め持株会社を設立することを全面的に禁止している。
- ③ 日本は、法人税率が他の先進国に比べて極端に低いため、課税を逃れるためのタックスヘイブン(租税回避地)として使われている。
- ④ 製造物責任法では、消費者被害が生じたとき、企業側に過失があった場合に限り賠償責任を負わせている。

現代社会

問2 下線部⑥に関連して、次の図は、ある製品の需要曲線と供給曲線を表したものである。当初の需要曲線はDD、供給曲線はSSであったが、その後、この製品の主原料となる資源価格が上昇したと想定する。その場合の需要曲線あるいは供給曲線にあらわれやすい動きを示した図として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15



問3 下線部㉔の市場の失敗の具体例に関する記述として**適当でないもの**を、次の

①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① 環境破壊によって生じる被害の費用負担が、原因企業ではなく周辺住民や地方自治体などに転嫁されてしまう。
- ② 生活道路の建設や整備は必要だが、その費用を通行料の形で利用者から徴収することは難しい。
- ③ 売り手と買い手のもつ情報に格差があると、品質の悪い商品を高い値段で買わされる場合が生じる。
- ④ ある商品が流行して需要量が急増したのに、生産が追いつかず供給量を増やすことができなかったため、価格が上昇した。

問4 下線部㉕に関連して、寡占市場の現状や問題点についての記述として最も適

当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

- ① 薄型テレビなどの家電製品は、世界的に寡占状態になって競争が抑制されているため、価格の低下がみられない。
- ② 自動車は消費者の好みに応じた多品種少量生産が必要なため、多くのメーカーが乱立して寡占市場が成立しにくい。
- ③ カルテルの結成は多くの国や国際機関で原則として禁止されているにもかかわらず、違法なカルテルが摘発される事例はあとを絶たない。
- ④ 電気やガスの供給のように巨大な設備を必要とする分野では、寡占市場が成立しにくいので、価格を政府が規制する必要はない。

現代社会

問 5 下線部㉔の日本における具体例についての記述として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① 営業のために許可や認可を必要とする制度を減らし，許認可を不要としたり届出制に変更したりした。
- ② たばこの専売制を廃止し，国産たばこの供給は民営化された企業に委ねる改革を行った。
- ③ 民営化を推進するために，公社や公団などの特殊法人を増設し，それまで官庁が直営で行ってきた事業をそこに移管した。
- ④ 地方自治体に指定管理者制度を導入し，それまで地方自治体が行ってきた公共施設の運営を民間企業や NPO 法人に委託できるようにした。

問 6 下線部㉕に関連して，財政の基本的な役割をめぐる記述として最も適切なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 19

- ① 消費税などの間接税と，補助金などの裁量的な歳出を組み合わせることで，所得格差を縮小する財政の働きは，所得の再分配と呼ばれる。
- ② 累進課税制度と社会保障制度には，好況期に税収の増加と社会保障支出の減少を自動的にもたらし，景気過熱を抑制する働きがある。
- ③ 不況期には，歳出の削減を進めて財政赤字を防ぐことにより，有効需要を拡大して景気の回復を図る。
- ④ 自由放任主義を唱えたアダム・スミスは，国防や司法も財政に頼らず民間企業が担当すべきであると主張した。

問7 下線部⑧に関連して、現代の企業の様々な活動をめぐる記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① 株式会社の形態をとる企業は、業績などに応じて、利益のなかから出資者である株主に対して配当(配当金)を支払う。
- ② 研究・開発(R&D)は産業競争力の強化に必要なため、企業自身の負担だけでなく政府による研究開発への支援も行われている。
- ③ 企業規模を拡大するために、他の企業を買収したり複数の企業が合併したりする手法が、国内だけでなく国際的にも拡大している。
- ④ 企業の利益を設備投資にあてると総需要が減少するので、設備投資の増加は経済成長率を低下させる原因になる。

現代社会

問 8 下線部⑨に関連して、企業が社会的責任を果たすためにとる行動ア～ウと、その内容を表す用語 A ～ C との組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 21

ア 企業が、株主などの利害関係者や投資家に対して、経営内容をはじめとする情報を公開する。

イ 企業が、法令や社会規範、倫理などを遵守し、社会の良き成員として受け入れられるような行動をとる。

ウ 企業が、社会的弱者への支援や災害からの復興など、社会貢献のために費用を支出したり活動を支援したりする。

A フィランソロピー

B コンプライアンス

C ディスクロージャー

① アー A イー B ウー C

② アー A イー C ウー B

③ アー B イー A ウー C

④ アー B イー C ウー A

⑤ アー C イー A ウー B

⑥ アー C イー B ウー A

(下 書 き 用 紙)

現代社会の試験問題は次に続く。

第4問 次の文章を読み、下の問い(問1～5)に答えよ。(配点 14)

㉑ 国際社会を構成している主体は何であろうか。これを国際法の法主体という面から考えてみよう。

国際法上の権利や義務が帰属する主体になることができるものとしては、まず国家が挙げられる。㉒ 主権を有する国家は、様々な条約を締結する権能を有している。このことを考えれば、国家が国際法上の主体であることには疑いがない。しかし、現在の国際社会において、国家だけが国際法上の主体であるわけではない。

20世紀に入り、二度の世界大戦を経験した国際社会は、人権問題のように一国の国内問題としていたのでは解決できない問題があることに気づく。そして、こうした問題に国際社会で対処するために、ある一定の政府間組織(IGO)を、国際法上の主体とみなしていくようになる。例えば、㉓ 国際連合(国連)憲章は、安全保障理事会に加盟国との間で特別協定を結ぶ権限を認めている。これは国連の機関が条約締結権を有するということであり、その意味で法主体となることができるということになる。また、人権条約のなかには、条約上の人権侵害を理由に個人が㉔ 国際的な司法機関に訴えを起こす権利を認めるものもある。これは、個人を国際法上の主体として認めているということである。

このように、国家だけを国際法上の主体とみなす時代から、限定的とはいえIGOや個人をも法主体として認める時代へと移り変わってきた。さらに今日では、企業や非政府組織(NGO)についてもその法主体性が議論されている。こうしたことから、㉕ 主権国家を中心とする国際社会のあり方が変容しつつあることが読み取れる。

問1 下線部②に関連して、国際関係や国家について論じた思想家に関する次の記述ア～ウと、その思想家A～Cとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 22

ア 主権の概念を理論化し、主権とは国家に属する絶対的、恒久的な権力であると論じた。

イ 『永久平和のために』を著して、永久の平和を実現するためには国際平和機構の設立が不可欠であると論じた。

ウ 国内だけでなく国際社会にも自然法が存在し、国家もそれに従わなければならないと主張したことから、「国際法の父」と呼ばれる。

A ボーダン

B カント

C グロチウス

① アーA イーB ウーC

② アーA イーC ウーB

③ アーB イーA ウーC

④ アーB イーC ウーA

⑤ アーC イーA ウーB

⑥ アーC イーB ウーA

現代社会

問2 下線部⑥に関連して、国家を構成する要素としての主権、国民、領域に関する記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① 国連海洋法条約では、基線から12海里の範囲内で領海の幅を設定することができる」と規定されている。
- ② 宇宙条約では、宇宙空間はいずれの国家も領有することができないと規定されている。
- ③ 国家は、自国の治安を脅かすおそれがあるなどの理由で、外国人の入国を拒否することができる。
- ④ 日本は、国籍取得について出生地主義を採用しており、日本で生まれた子は、両親が外国人であっても、日本国籍を取得できる。

問3 下線部③に関連して、国連が国際社会の平和と安全を維持するために採用している集団安全保障方式に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① 他国と同盟関係を結ぶなどして、敵対する勢力との間の軍事バランスを維持し、国際関係の安定化を図ろうとする。
- ② 自国が外国から武力攻撃を受けた場合、自国の防衛のために実力をもってその攻撃を阻止する。
- ③ 武力の不行使を相互に約束した国々が、その約束に反して侵略を行った国に対し、集団的な制裁を加えることで平和を維持する。
- ④ 自国と密接な関係にある国が外国から武力攻撃を受けた場合、自国が攻撃を受けていなくても、実力をもって攻撃を阻止しその国を防衛する。

問 4 下線部㉔に関連して、国際裁判所や国際法に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① 国連の主要機関の一つである国際司法裁判所は、国家だけでなく、個人や国際組織の提訴を受けて裁判を行うこともできる。
- ② 国際刑事裁判所は、集団殺害犯罪や人道に対する犯罪、戦争犯罪に関し、個人の罪を裁くことができる。
- ③ 国連に加盟している国は、国連総会が採択したすべての条約に加入する義務がある。
- ④ 国際法は、国家間の合意を成文化した条約のみで構成され、成文化されていない国際的な慣習は国際法として認められていない。

問 5 下線部㉕に関連して、IGO や NGO による国境を越えた活動の事例に関する記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 国際労働機関(ILO)は、条約を採択したり勧告を行ったりして、各国の労働者の労働条件の改善に努めている。
- ② 対人地雷全面禁止条約が成立するに至った背景には、NGO の連合体による主権国家に対する働きかけがあった。
- ③ 日本は、ソマリア沖に出没している海賊に対処するために、自衛艦を同海域に派遣している。
- ④ アムネスティ・インターナショナルは、死刑制度の廃止など、人権擁護の活動を行っている。

第5問 次の文章を読み、下の問い(問1～5)に答えよ。(配点 14)

人の一生のなかで、㉠青年期ほど迷いや不安を抱く時期はないかもしれない。それは、ある意味で人生を左右する選択や決断が求められる時期だからであろう。

例えば、㉡青年期の発達課題として、しばしばアイデンティティの確立が指摘される。人は多様な社会関係のなかで様々な役割を遂行しているが、青年の場合、自分のあり方に一貫性が見出せず、いったいどれが本当の自分なのか分からなくなり、㉢心理的に不安定になることも多い。しかし、自分の人生を積極的に引き受けていこうとするならば、自分なりの生き方を見出し、自分というものを確立していかなければならないであろう。青年期はその意味で人生観や個性を形成する上で大切な時期であると言えよう。

また、青年期は、㉣職業を選択し、そこで必要とされる技能や知識を習得することが求められる時期でもある。職業を選択する際に、現在の自分の興味、能力、適性を考えることはもちろん大切である。それだけでなく、職業生活、家庭生活、余暇の過ごし方、老後の生活のあり方など、自分の一生全体を見渡しつつ、㉤生きがいをもって働ける職業とは何かを考えていかなければならない。

このように、青年期はこれからどのような人生を歩むかを決める岐路に立つ時期と言えるであろう。

問1 下線部㉔に関連する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① エリクソンは、青年期を、大人としての社会的責任や義務を猶予されている期間という意味で、「心理・社会的モラトリウム」と呼んだ。
- ② ルソーは、青年を、子どもの集団にも大人の集団にも完全に属しているわけではないという意味で、「マージナルマン(境界人)」と呼んだ。
- ③ レヴィンは、青年期を、それまでの親への依存から精神的に離脱する時期であることから、「心理的離乳」の時期と特徴づけた。
- ④ ホリングワースは、青年期を、一人の自立した男性や女性として生きようとする時期であることから、「第二の誕生」の時期と特徴づけた。

問2 下線部㉕に関連して、ハヴィガーストが青年期の発達課題としたものとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① 善悪の区別を学習し、良心を発達させる。
- ② 社会的に責任ある行動を求め、それをなしとげる。
- ③ 肉体的な強さと健康の衰退に適応する。
- ④ 配偶者と良好な人間関係を樹立する。

現代社会

問3 下線部㉔に関連して、心理的に不安定な状況に直面したときに生じる葛藤や欲求不満に対して、無意識に自我を守る仕組みを防衛機制(防衛反応)と言う。防衛機制の例についての次の記述A～Cと、それぞれに相当する防衛機制の種類(型)の名称ア～ウとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 29

- A コンクールに入賞できずにイライラしていたが、入賞できなかったのは審査員の感覚が古いせいだと考えた。
- B 失恋して意気消沈していたが、ボランティア活動に熱心に取り組み、その活動が評価されて市長から表彰を受けた。
- C 幼いころに嫌な思いをしたが、そのようなことはなかったかのようにすっかり忘れていた。

ア 抑圧 イ 昇華 ウ 合理化

- | | | | |
|---|-------|-------|-------|
| ① | A — ア | B — イ | C — ウ |
| ② | A — ア | B — ウ | C — イ |
| ③ | A — イ | B — ア | C — ウ |
| ④ | A — イ | B — ウ | C — ア |
| ⑤ | A — ウ | B — ア | C — イ |
| ⑥ | A — ウ | B — イ | C — ア |

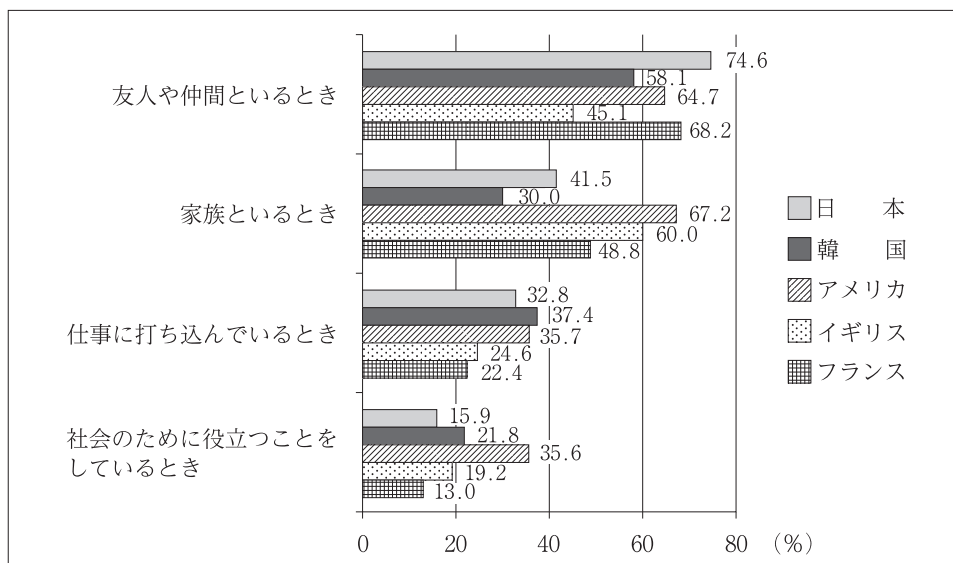
問 4 下線部④に関連して、日本における職業選択や雇用をめぐる記述として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

30

- ① 近年では景気の回復により雇用情勢が好転しているので、有効求人倍率は低下している。
- ② 派遣社員、パート労働者、アルバイトなどの非正規雇用者には、労働基準法などの労働関係の法令は適用されない。
- ③ 大学のなかには、職業選択の参考にすることを目的に学生に就業体験をさせるリカレント教育を実施しているところもある。
- ④ パワハラ(パワーハラスメント)など過酷な労働環境を理由に退職する人が多く出る企業があり、社会問題となっている。

現代社会

問5 下線部㊸に関連して、次の㊹は、各国の青年に対して行った「あなたは、どんなときに充実していると感じますか」という質問に対する回答を国別にまとめたものである。この㊹から読み取れることとして**適当でないもの**を、下の①～④のうちから一つ選べ。 31



(注) 対象は、各国の18～24歳の青年。調査では複数回答が認められている。
内閣府『第8回世界青年意識調査』(2009年)により作成。

- ① フランスについて四つの項目を比較すると、「友人や仲間といるとき」と回答した人の割合が最も高い。
- ② 「仕事に打ち込んでいるとき」と「社会のために役立つことをしているとき」を比較すると、いずれの国も「仕事に打ち込んでいるとき」と回答した人の割合の方が高い。
- ③ 5か国のなかで、「家族といるとき」と回答した人の割合が最も低いのは、韓国である。
- ④ 5か国のなかで、「社会のために役立つことをしているとき」と回答した人の割合が最も高いのは、日本である。

(下 書 き 用 紙)

現代社会の試験問題は次に続く。

第6問 次の文章を読み、下の問い(問1～5)に答えよ。(配点 14)

貿易自由化の進展，情報通信分野における技術革新，新興国の成長などを背景として，㉑経済のグローバル化が急速に進んでいる。ヒト，モノ，サービス，カネなどが国境を越えて目まぐるしく移動しており，企業の海外進出も，部品生産や研究開発など，事業分野の最善の配置を考えて行うことが常態となっている。

こうしたグローバル化の進展が，生産性の向上や市場の拡大，金融取引の増大などを通じて，世界経済を活性化してきたことは否定できない。しかし，その評価にあたっては，負の面も視野におさめなければならないだろう。例えば，莫大な投機的資金の移動によって通貨が暴落し，各国の経済が振り回されることがある。アメリカ発の世界金融危機の際にみられたように，グローバル化が進展した今日では各国の経済は緊密に結びついており，一国で生じた㉒経済危機がたちまち他国に波及する。また，グローバル化によって㉓発展途上国の貧困や環境破壊が拡大しているという認識から，グローバル化に反対する声も少なくない。

近年では，世界貿易機関(WTO)とは別の枠組みで貿易自由化を進める動きが目立っている。すでにヨーロッパでは㉔欧州連合(EU)が発足しているが，㉕その他の地域でも経済統合が成立しているほか，地域横断的な自由貿易協定(FTA)や経済連携協定(EPA)を締結する国も増えている。この新たな動向の意味や影響についても，広い視野の下で考えてみなければならないだろう。

問 1 下線部③に関連して、国境を越えた経済活動についての記述として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① 円高が進むと、海外に投資する際のコストが割高になるため、企業の海外進出は抑制される。
- ② 日本の金利水準が他国に比べて低いと、日本が有利な運用先となって、日本への資金流入が促進される。
- ③ 日本企業の海外子会社が現地で新たに生産した付加価値は、日本の国民総所得(GNI)と国内総生産(GDP)のいずれにも算入される。
- ④ 企業が海外に生産拠点を移転すると、国内の生産や雇用が減少して産業の空洞化が進むおそれがある。

問 2 下線部④に関連して、様々な経済危機に対する対応についての記述として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① ニクソン・ショックを受けて開催されたスミソニアン会議では、ドル高を是正するために各国が協調介入することが決定された。
- ② アジア通貨危機をきっかけとして国際通貨基金(IMF)が設立され、外貨不足に陥った国に融資を行うようになった。
- ③ リーマン・ショック後の世界金融危機に対処するため、20の国・地域によって G20金融サミット(G20首脳会合)が開催された。
- ④ ギリシャから始まったユーロ圏の経済危機を鎮静化させるため、国際復興開発銀行(IBRD)が設立された。

現代社会

問3 下線部㉔に関連して、表1は、インド、アフガニスタン、タンザニアがそれぞれ受け取った経済協力資金の額と、それに占める二国間 ODA (国際機関を経由しない直接の政府開発援助)の額を示したものである。表2は、これら3か国に対する日本の ODA 供与額と、それに占める贈与の額を示したものである。これらの表から読み取れる内容を記述した次ページの文アとイを参考にして、表1と表2のA～Cに該当する国名の組合せとして最も適当なものを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

34

表1 経済協力資金の受取額

(単位 100万米ドル)

	受取額	二国間 ODA の額
A	3,050	1,660
B	25,959	2,221
C	6,424	5,588

表2 日本の ODA 供与額と贈与の額

(単位 100万米ドル)

	ODA の供与額	
		贈与の額
A	105	94
B	981	38
C	746	746

(注1) 表1、表2ともに、2010年のデータであり、表2に示されている数値は、いずれも小数点以下を四捨五入している。

(注2) 表2に示されている日本の ODA 供与額は、日本がA・B・Cの各国に供与した二国間 ODA の額であり、贈与は無償資金協力と技術協力を内容とする。

総務省統計局『世界の統計2013』により作成。

ア 経済協力資金の受取額に占める二国間 ODA の額の割合は、アフガニスタンよりタンザニアの方が小さい。

イ 日本の ODA 供与額に占める贈与の割合は、タンザニアよりインドの方が小さい。

- | | | | |
|---|-----------|-----------|-----------|
| ① | A インド | B アフガニスタン | C タンザニア |
| ② | A インド | B タンザニア | C アフガニスタン |
| ③ | A アフガニスタン | B インド | C タンザニア |
| ④ | A アフガニスタン | B タンザニア | C インド |
| ⑤ | A タンザニア | B インド | C アフガニスタン |
| ⑥ | A タンザニア | B アフガニスタン | C インド |

問 4 下線部㊤に関連して、EU についての記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① EU は、マーストリヒト条約に基づき発足し、共通外交・安全保障政策を目指している。
- ② EU では、すべての加盟国が自国通貨を放棄し、ユーロを導入している。
- ③ リスボン条約に基づき、EU の大統領にあたる職が設けられている。
- ④ 2013年にはクロアチアが加盟し、EU は現在28か国で構成されている。

現代社会

問 5 下線部㊸に関する記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ
選べ。

36

- ① FTA を締結すると共通通貨が導入されるため，域内で貿易や投資が促進される。
- ② FTA の締結によって安価な商品が流入すると，競合する商品を生産する国内産業にとって大きな打撃になる場合がある。
- ③ アメリカは FTA の締結に関して消極的であり，いずれの地域的経済統合にも参加していない。
- ④ 日本は，先進国との間では EPA を締結しているが，東南アジアや中南米の発展途上国との間ではまだ締結例がない。

(下書き用紙)

倫 理

(解答番号 1 ~ 37)

第1問 以下は、テロや内戦に関する報道を目にした大学生AとBの会話である。

この文章を読み、下の問い(問1～10)に答えよ。(配点 28)

A：新聞やテレビの報道は、連日のように世界各地のテロの横行や内戦の痛ましい状況を伝えているね。㉑多くの尊い命が奪われている状況に心が痛むよ。

B：この状況をみんなどう思っているのかな？ 一向に改善されない状況に苛立ち^{いらだ}を覚える人もいれば、現地に行って苦しんでいる人を助けたい…、でも危険な目にはあいたくない…、と㉒ジレンマを感じている人もいるだろう。遠い国の出来事として㉓責任を感じることもなく、^{なか}半ば^{あきら}諦めている人もいるかもね。

A：でも、この㉔難題に立ち向かい続けていくことは必要だよ。そもそもなぜ、こうした悲惨な状況に陥るのかな？

B：政治的・経済的な格差や不平等への㉕不満が原因だと思う。

A：なるほど。政治的・経済的「強者」は、既得権益を簡単には手放そうとしない。だから、政治的・経済的「弱者」が、暴力に訴えてでも格差・不平等の是正を実現するために行動する、という話はしばしば耳にするね。

B：非人道的な抑圧に対して、「弱者」が蜂起することもやむを得ないと思う。人々の自由・平等や㉖平和を守るためには、ある程度の実力行使も必要だよ。

A：でも、「弱者」と「強者」のうち、どちらかが暴力を用いれば、もう一方も暴力で応酬することになると思うよ。双方が㉗暴力では何も解決できないことを認識し、暴力の連鎖を断つことが重要だよ。

B：いや、「弱者」の実力行使は認めるべきだと思う。人はいったん「強者」になると、既存の秩序に反発する者を㉘異質な他者とみなし排除しようとする傾向を示すからね。「強者」が不当な秩序の維持に固執するなら、実力で阻止すべきだよ。

A：人間にそうした傾向があることは否定できないけど、実力行使は避けたいね。

「強者」が「弱者」を対等の人間として尊重し、「強者」中心の社会ではなく、「弱者」の立場にも十分に配慮した①人間的な社会のあり方を探究する必要があると思うな。

問1 下線部②に関連して、近年、国家が自国と国民を守るという「国家の安全保障」とは異なる理念、すなわち国家の枠組みを超え、人間の生存、生活、尊厳を脅かすあらゆる種類の脅威から一人ひとりの安全を守るべきであるという「人間の安全保障」の理念が重視されている。この理念に基づく取組みの例として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 1

- ① 同盟関係にある国への武力攻撃を、自国に対する武力攻撃とみなし、軍事力によってその国を共同で防衛できる体制を整備する。
- ② 国際法に反して侵略を企てる国に対して、国際社会の多数の国が共同で武力制裁を加え、その侵略行為を防止する。
- ③ 政府が、国民の間に見られる経済的格差の是正よりも一国全体の経済的発展を優先し、高速道路や国際空港の整備を進める。
- ④ 軍備の増強によって国の安全を確保することよりも、感染症の対策や初等教育の普及を図っていくことに重点を置く。

倫 理

問2 下線部⑥に関連して、友人関係などにおいて、相手に接近したい気持ちと、お互いが傷つくことへの恐れとが葛藤を起し、適切な距離関係を築くことが難しい状況を「ヤマアラシのジレンマ」と言う。その具体例として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 2

- ① Aさんは、いつも多くの友人に囲まれているが、今までに自分の本当の気持ちを理解してくれると思えるような友人に出会ったことはないと考え、今後も本当の意味での友人に出会えるかどうか不安を感じている。
- ② Bさんは、大人数で行動することを好まず、むしろ一人でいることが好きであることから、なるべく友人をつくらず、ごく親しい友人とだけ行動しようと日頃から心がけている。
- ③ Cさんは、周りの友人の考え方や行動に共感を覚え、親しみや仲間意識も感じて仲良くしているが、「負けたくない」というような強いライバル意識も同時にもっている。
- ④ Dさんは、心を打ち明けられる親しい友人を求めているが、親しくなるにつれて自分がいやな思いをしたり相手にいやな思いをさせてしまうのではないかと考え、どのように付き合っていけばよいか分からないでいる。

問3 下線部㉔に関連して、日本では、成人年齢を引き下げれば若者が早くから自分の行動に責任感をもつようになるのではないかという意見がある。次ページの図1・2は、そのような意見に関連して行われた調査の結果で、各項目を「子どもが大人になるための条件」として挙げた人の割合と、「今の18歳、19歳にあてはまること」として挙げた人の割合をそれぞれ表している(複数回答)。図から読み取れることとして適当でないものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。 3

図1 子どもが大人になるための条件

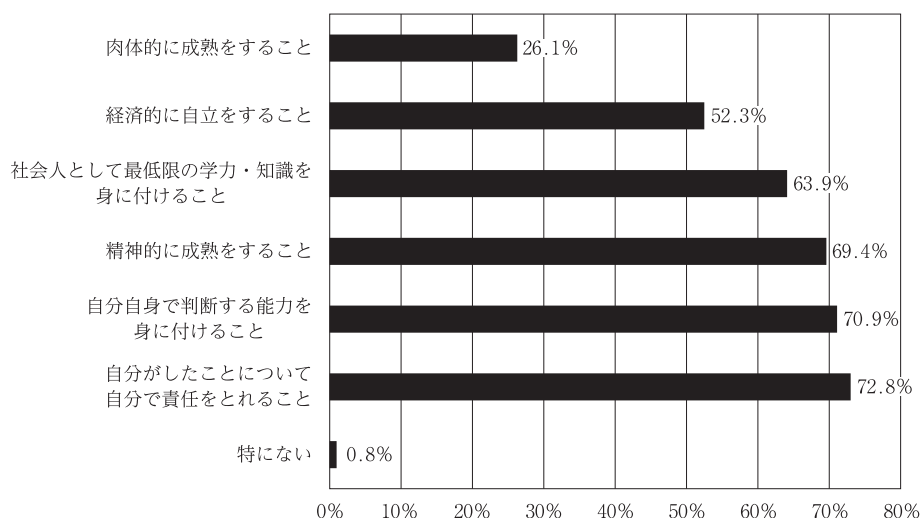
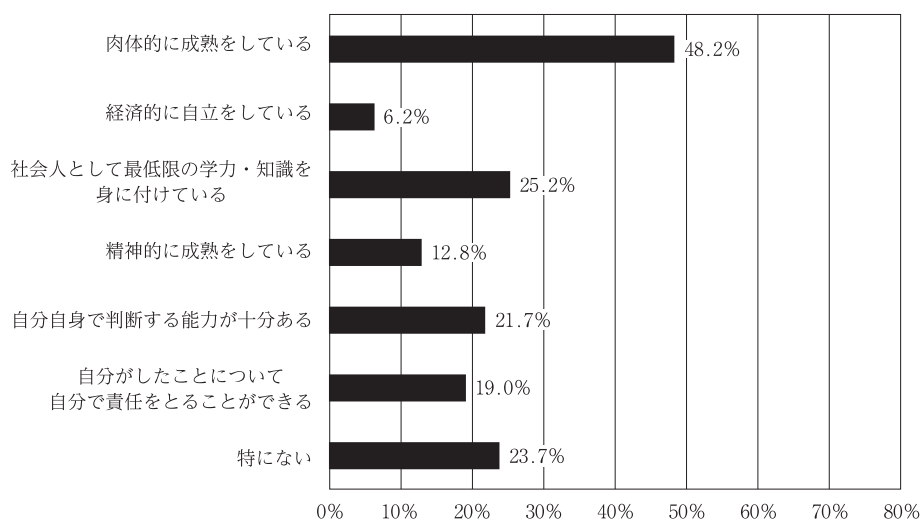


図2 今の18歳、19歳にあてはまること



(注) もとの調査票は、「あなたは、子どもが大人になるためには、どのような条件が必要だと思いますか」という質問と、「あなたが、現在の18歳、19歳の日本人にあてはまると思われることは何ですか」という質問からなり、それぞれの項目のなかから「いくつでもあげてください」という形式をとっている。

内閣府「民法の成年年齢に関する世論調査」(2013年10月)より作成。

倫 理

- ① 図1の「肉体的に成熟をすること」の数値は、図2の「肉体的に成熟をしている」の数値を下回っている。これに対し、図1の「精神的に成熟をすること」の数値は、図2の「精神的に成熟をしている」の数値を上回っている。
- ② 図1と図2の数値を比べると、「自分自身で判断する能力を身に付けること」と「自分自身で判断する能力が十分ある」の差よりも、「経済的に自立をすること」と「経済的に自立をしている」の差の方が小さい。
- ③ 図2の数値を見ると、「特にない」と答えた人の割合を上回っている項目は、「社会人として最低限の学力・知識を身に付けている」と「自分がしたことについて自分で責任をとることができる」の二つのみである。
- ④ 図2の「自分がしたことについて自分で責任をとることができる」の数値は、図1の「自分がしたことについて自分で責任をとれること」の数値の3分の1以下となっている。

問4 下線部④に関連して、地球的な視野で考え、人類の福祉を向上させていくための活動についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① NGO(非政府組織)による援助活動はODA(政府開発援助)に比べて規模が大きく、現地の住民の要求に沿ったきめ細かい活動を行うことができない。
- ② NGOのなかには、世界経済に関する国際会議が開かれると、グローバル化により拡大した経済格差への不満から抗議活動を行うものもある。
- ③ 日本では、NPO(非営利組織)が公益に^{かか}関わるサービスを提供するにあたり、その利用者や受益者から活動の費用を徴収することが禁じられている。
- ④ 日本では、企業が従業員に対してボランティア活動のための休暇を与えることが、法律によって義務づけられている。

問5 下線部㉔に関連して、人間が欲求不満に直面したとき、心のなかで無意識のうちに自我の安定を取り戻そうとするメカニズム、いわゆる防衛機制(防衛反応)が働くことがある。防衛機制の具体例ア～エと、その説明A～Dとの組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 5

ア 昇 華

イ 合理化

ウ 同一視

エ 退 行

A 他人がもつ長所・特性を自分のものとして取り入れ、それを自分がもっているかのように思い込む。

B 幼児化するなど、現在の自分よりも幼い頃の発達段階に逆戻りする。

C 自分の失敗や欠点に、もっともらしい理屈をつけて自分を正当化する。

D 満たされない欲求を社会的に価値の高い目標に置き換える。

① アーA イーB ウーC エーD

② アーA イーC ウーB エーD

③ アーB イーD ウーA エーC

④ アーB イーA ウーD エーC

⑤ アーC イーB ウーD エーA

⑥ アーC イーD ウーB エーA

⑦ アーD イーC ウーA エーB

⑧ アーD イーA ウーC エーB

倫 理

問 6 下線部①に関連して、平和の実現を目指してなされた主張として**適当でない**ものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 6

- ① ヴァイツゼッカーは、「過去に目を閉ざす者は、結局のところ現在にも目を閉ざすことになる」と述べ、過去の非人間的な行為を心に刻もうとしない者は、またそうした行為に陥りやすいと説いた。
- ② 世界人権宣言は、人類社会のすべての構成員の固有の尊厳および平等な権利を認めていくことが、世界における自由・正義・平和の基礎をなすものであると謳^{うた}っている。
- ③ ユネスコ憲章は、「戦争は人の心のなかで生まれるものであるから、人の心のなかに平和のとりでを築かなければならない」と謳うとともに、相互の風習と生活を知らないことが、戦争が起きる一因であるとしている。
- ④ カントは、永遠平和を実現するためには、国際平和機構に頼らず、敵対関係にある国家あるいは国家群がそれぞれ常備軍を強化し、お互いに相手を攻撃できない状況をつくる必要があると説いた。

問7 下線部⑧に関連して、非暴力主義を唱えたガンディーは、インド人の抵抗運動を「パッシヴ・レジスタンス受動的抵抗」と表現することに限界を感じ、新たに「サットィヤーグラハ」という名称を用いるようになったと語っている。その受動的抵抗とサットィヤーグラハの相違について述べた次の文章を踏まえて、彼の主張の説明として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 7

受動的抵抗には愛情の余地はありませんが、サットィヤーグラハでは憎悪の余地はありません。……受動的抵抗はしばしば武力行使の準備段階とされますが、サットィヤーグラハはこのようにはけっして用いられません。受動的抵抗と武力行使は両立可能です。サットィヤーグラハは武力とまったく相反するものですから、両者はけっして一致しません。……受動的抵抗では、敵対者に苦痛を与え、困らせようという考えがいつもあるのです。そして苦痛を与えつつ、自身被^{こうむ}らなければならない苦痛に耐える準備をすることになっています。それに反して、サットィヤーグラハでは、対抗者に苦痛を与えようとする考えすらあってはなりません。苦難に自らじっと耐え忍んで対抗者を征服する考えがなければなりません。

(『南アフリカでのサットィヤーグラハの歴史』より)

- ① 受動的抵抗では敵対者に苦痛を与えることが禁止されるが、サットィヤーグラハでは武力を用いない限り、敵対者に苦痛を与えることが認められる。
- ② サットィヤーグラハの運動家・信奉者は、無限の忍耐力をもち、愛と思いやりによって、迫害者の心や考え方を变えるよう努めなければならない。
- ③ 受動的抵抗とサットィヤーグラハは、ともに純粋で素朴な魂の力を土台とする運動であり、憎しみが入り込む余地はない。
- ④ サットィヤーグラハでは基本的に武力を使うことが禁止されるが、迫害に相応する報復を行い、迫害者に苦痛を与えようとする考えは認められる。

倫 理

問 8 下線部⑨に関連して、次のア～エは、文化の多様性や異文化との接触について考察した人物の説明である。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

8

ア レヴィ＝ストロースは、未開民族のもつ野生の思考は、西洋人が誇る科学的思考と比較して、その精密さにおいて少しも劣るところはないと説いた。

イ ベネディクトは、日本人の行動や文化の分析を試み、「罪の文化」である西洋文化と比較して、日本文化の特徴を「恥の文化」と捉えた。

ウ サイドは、東洋人が、東洋と西洋を区別し、西洋の文化を先進的とみなし、憧憬の対象として捉える思考様式を「オリエンタリズム」と呼んだ。

エ 徳富蘇峰は、一般の民衆の立場から西洋文化を受け入れ、民衆による近代化を進める平民主義を唱えたが、のちに国家主義の立場に転じた。

- | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア 正 | イ 正 | ウ 誤 | エ 正 |
| ② | ア 正 | イ 正 | ウ 誤 | エ 誤 |
| ③ | ア 正 | イ 誤 | ウ 正 | エ 正 |
| ④ | ア 正 | イ 誤 | ウ 正 | エ 誤 |
| ⑤ | ア 誤 | イ 正 | ウ 誤 | エ 正 |
| ⑥ | ア 誤 | イ 正 | ウ 誤 | エ 誤 |
| ⑦ | ア 誤 | イ 誤 | ウ 正 | エ 正 |
| ⑧ | ア 誤 | イ 誤 | ウ 正 | エ 誤 |

問9 下線部①に関連して、次の文章は理想の社会の建設を求めた人物の説明である。**a** ~ **c** に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑨のうちから一つ選べ。 **9**

ロシアの文豪トルストイは、「汝の敵を愛せ^{なんじ}」というキリストの教えの実践を説き、非暴力主義と反戦を唱えたことで知られる。彼はまた、争いのない相互扶助的な農村共同体を理想として掲げた。このトルストイから大きな影響を受けた人物に、**a** の同人である武者小路実篤がいる。彼は、**b** を自由に伸長させ、善意を生かすことによって、人類の文化の発展に寄与すべきであると考え、そうした生き方を実践する共同体として「新しき村」を建設した。他方、**c** を結成した幸徳秋水は、トルストイの説くキリスト教信仰に基づく非暴力主義を、弱者にとっては残忍な思想であると批判し、悲惨な戦争をなくすためには、資本主義を基礎とする社会に代えて、社会主義に基づく社会を確立する必要があると訴えた。

- | | | | |
|---|-------|----------|-------|
| ① | a 青鞥社 | b 民族の独自性 | c 白樺派 |
| ② | a 青鞥社 | b 民族の独自性 | c 平民社 |
| ③ | a 青鞥社 | b 各人の個性 | c 平民社 |
| ④ | a 白樺派 | b 民族の独自性 | c 青鞥社 |
| ⑤ | a 白樺派 | b 各人の個性 | c 青鞥社 |
| ⑥ | a 白樺派 | b 各人の個性 | c 平民社 |
| ⑦ | a 平民社 | b 民族の独自性 | c 白樺派 |
| ⑧ | a 平民社 | b 各人の個性 | c 白樺派 |
| ⑨ | a 平民社 | b 民族の独自性 | c 青鞥社 |

倫 理

問10 本文の内容に合致する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

10

- ① Aさんは、「弱者」がある程度の実力を用いることを認めるべきとするBさんの考えに反対するとともに、暴力がさらなる暴力を招く事態を解消するためには、「強者」と「弱者」の双方が非暴力を重んじなければならない、と訴えている。
- ② Aさんは、人はいったん「強者」になると、既存の秩序に抵抗する者を排除しようとする傾向を示すというBさんの考えに反対しているが、二人の考えは、「弱者」が格差・不平等への不満を訴える場合であっても、実力を用いることは許されないと主張している点で共通している。
- ③ Aさんの意見によれば、秩序維持を目的に「弱者」に実力を用いた抑圧を行うような政治指導者に対しては、「弱者」が実力を用いて抵抗することが許される。これに対して、Bさんは、「弱者」「強者」の双方が、暴力の連鎖を断つことの重要性への認識を深めていかねばならない、と考えている。
- ④ Bさんは、「弱者」「強者」双方による安易な実力行使が、絶えることのない暴力の連鎖を招いてきた、と考えている。しかしAさんは、「弱者」による「強者」への実力行使が暴力の連鎖を招くことはないから、「弱者」の側が実力を放棄する必要はない、と考えている。

(下 書 き 用 紙)

倫理の試験問題は次に続く。

第2問 次の文章を読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(配点 24)

現代社会においては、「ありのままのあなた」や「ありのままの私」という言葉に肯定的な響きを感じる人が多いかもしれない。それは、なぜだろうか。「ありのまま」をめぐる古代の東洋思想を手がかりにして考えてみよう。

多くの先哲たちが、「ありのまま」の人間を欲望に囚^{とら}われた存在と捉え、「ありのまま」を矯正する人為や作為の必要性を説いた。例えば、㉑ 群雄が割拠した古代中国を生きた孔子は、「ありのまま」の人間が、仁や礼を顧みず、己の欲望を追求することに現実の政治社会の混乱の原因があると考え、人が従うべき規範としての仁や礼の思想を説いた。この孔子の思想を受け継いだ孟子も、㉒ 人間の生まれつきの善性を信頼したが、放っておくとそれは消えてしまうとして、その育成が必要だと説いている。孔子や孟子の思想を再興した後代の儒学者も、㉓ 学問・修養あるいは実践によって、生まれつきの善性をきわめるべきだと説いた。

一方で、「ありのまま」を肯定的に捉えようとする思想もある。例えば、儒家の対極に位置する思想家として人々に支持される老子は、儒家の説く人倫の道は人間本来の道ではないとして、㉔ 無為自然を説いた。老子によれば、人は社会のなかで妬^{ねた}みや蔑^{さげす}みで心を曇^{くも}らせ、いつのまにか自他を比較して見栄や虚勢を張り、道徳に縛られ、息苦しい社会を作り出していると言うのである。

身分制度を前提とする㉕ バラモン教が強い力をもった古代インドでも、ブッダが「ありのまま」に立ち返ることを説いた。ブッダによれば、人々は、様々な執着心の虜^{とりこ}となって、自己と世界の「ありのまま」の姿を㉖ 曇りなき心で見ることができないでいる。そして、自らの人生を㉗ 苦しみに満ちたものにしてしまっている。だから、苦しみから逃れるには、「ありのまま」に立ち返らなければならないと言うのである。

これらのことから言えるのは、「ありのまま」を否定する思想は社会秩序が混乱した時に求められるが、㉘ 特定の価値観を人々に押しつけて自由を強く束縛することがあるということである。これに対して、「ありのまま」を肯定する思想は、特定の価値観が支配的になった時に求められると言えるだろう。

それゆえ、このように見てくると、A。

問 1 下線部㊸に関して、混乱する現実社会を前に、孔子は諸国を遊説し、理想の道德や政治を説いた。彼の主張として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- ① 国を治めようと思うならば、道德に拠らず、賞罰のけじめを厳正かつ確実に行うことに徹すればよい。
- ② 人が人として身につけるべき基本的な徳である仁は、孝や悌といった家族の愛を土台にして育つ。
- ③ 君子は、人民のことを第一に考え、特に仁と義といった徳に基づいて霸道政治を目指すべきである。
- ④ 社会の混乱を招かないためには、親疎の区別なく他者を愛する精神を人の心に植え付けることが必要である。

問 2 下線部㊸に関連して、次のア～エは、孟子が説いた徳の端緒(芽生え)である。孟子は、これらを養い育てていけば、それぞれ、いかなる徳が実現されると論じたか。その組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

12

- ア 不善を恥じ憎む羞惡の心
- イ 真偽を見分ける是非の心
- ウ 他人の不幸を見過ごせない惻隱の心
- エ 他人を敬い、相手に譲る辞讓の心

- ① ア 義 イ 智 ウ 礼 エ 仁
- ② ア 義 イ 智 ウ 仁 エ 礼
- ③ ア 智 イ 仁 ウ 礼 エ 義
- ④ ア 智 イ 礼 ウ 義 エ 仁
- ⑤ ア 仁 イ 礼 ウ 義 エ 智
- ⑥ ア 仁 イ 義 ウ 智 エ 礼

倫 理

問3 下線部㉔に関して、次の文章は、「理」をめぐる朱子と王陽明の考え方を説明したものである。

a

・

b

に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

13

朱子は、内なる「理」に従う

a

 と万物の「理」をきわめる窮理を実践し、「気」に基づく私欲によって発現を妨げられた「理」を完全に発揮することが理想の道だと説いた。これに対して、王陽明は、生まれながらの心そのものが「理」であるとして、善悪是非を判断する心の働きである

b

 のままに生きることこそが人間の道であると説いた。

- ① a 居敬 b 浩然の気
- ② a 坐忘 b 浩然の気
- ③ a 居敬 b 良知
- ④ a 坐忘 b 良知

問4 下線部㉕に関連して、老子が理想とした共同体のあり方の説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

14

- ① 一か所に定住することなく、家畜と共に絶えず移動しつつも、強い絆で結ばれた共同体。
- ② 軍事力を背景に他の民族や国家を取り込み、常に発展していく膨張志向をもった共同体。
- ③ 隣国の文化や風習について理解があり、隣国と盛んに交易を行う開かれた共同体。
- ④ 利便性に乏しく、周辺との往来もほとんどない、自給自足の生活を営む小さな共同体。

問5 下線部㉔に関して、バラモン教の教えを理論的に深めたウパニシャッド哲学が説く輪廻思想の説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

15

- ① この世を司る神が、すべての生きものを生存中の行いに応じて輪廻転生させているのであるから、人が輪廻の苦しみから抜け出すためには、この唯一絶対の神に全面的に帰依するしかない。
- ② 自我の本質であるブラフマンと、宇宙の本質であるアートマンが一体であることを自覚し、アートマンと自己が合一する境地に至ることで、輪廻から抜け出すことができる。
- ③ 快樂はもちろん、^{めいそう}瞑想や禁欲といった苦にも偏らず、正見・正思・正語・正業・正命・正精進・正念・正定を実践し、いついかなる時も中道を歩むことが、解脱に至る道である。
- ④ 靈魂が不滅であるからこそ、人は輪廻転生を繰り返すが、来世の姿は現世での行いによるので、人が来世においても現世と同じように人に生まれ変わるとは限らない。

問 6 下線部①に関連して、次の文章は、大乘仏教における自他の区別のない菩薩のあり方である「不二の法門」について、智慧者の文殊菩薩と在家の仏教信者である維摩詰の間で交わされた会話である。ここで述べられていることとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 16

[ブッダの弟子たちが様々に説明したのに対して、]文殊菩薩が答える。「高貴な士よ、あなたがたの説はすべてよろしいが、しかし、あなた方の説いたところは、それもまたすべて二なのである。なんらのことばも説かず、無語、無言、無説、無表示であり、説かないということも言わない——これが不二にはいることです」。……そこで、文殊菩薩は維摩詰に言った。「われわれはおのおのの説を述べたのですが、あなたにもまた不二の法門について何か語っていただきたいのですが」。……そのとき、維摩詰は、口をつぐんで一言も言わなかった。……すると文殊菩薩は、維摩詰をたたえて言った。「大いに結構です。良家の子よ。これこそ菩薩が不二にはいることであって、そこには文字もなく、ことばもなく、心がはたらくこともない」。

(『維摩経』より)

- ① 文殊菩薩が、不二の法門についてのブッダの弟子たちの説明に満足しなかったのは、彼らが不二の法門の教えを言葉や文字では表現できないと述べて説明することを放棄してしまったからである。
- ② 文殊菩薩が、不二の法門についてのブッダの弟子たちの説明に満足しなかったのは、ブッダの弟子たちには事柄を二つに分別して考えるという姿勢がまだ身についていないと考えたからである。
- ③ 文殊菩薩に答えることを促された維摩詰が無言であったのは、文殊菩薩が不二の法門を完璧に悟っていることに恐れ入ってしまい、付け加えるべき言葉が思いあたらなかったからである。
- ④ 文殊菩薩に答えることを促された維摩詰が無言であったのは、言葉にして表現すればそれは不二の法門でなく、不二の法門を知らしめるには無言でなければならないと維摩詰が悟っていたからである。

問7 下線部㉔に関して、次のア～ウは、ブッダの教えの記述である。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 17

ア ブッダによれば、人生が苦しみに満ちているのは、人が六波羅蜜などの煩悩に囚われているからである。

イ ブッダによれば、死は人生における苦しみではなく、この世のあらゆる束縛からの解放を意味する。

ウ ブッダが説いた慈悲とは、生きとし生けるものすべてから苦しみを取り除き、楽を与えることである。

- | | | | |
|---|-----|-----|-----|
| ① | ア 正 | イ 正 | ウ 正 |
| ② | ア 正 | イ 正 | ウ 誤 |
| ③ | ア 正 | イ 誤 | ウ 正 |
| ④ | ア 正 | イ 誤 | ウ 誤 |
| ⑤ | ア 誤 | イ 正 | ウ 正 |
| ⑥ | ア 誤 | イ 正 | ウ 誤 |
| ⑦ | ア 誤 | イ 誤 | ウ 正 |
| ⑧ | ア 誤 | イ 誤 | ウ 誤 |

問8 下線部㉕に関連して、ブッダの説いた「縁起の法」を問い直し、「空」の思想を展開した竜樹(ナーガールジュナ)の教えの説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① あらゆるものは無自性であり、それ自体として固有の本性をもたない。
- ② すべては心が生み出したものにすぎず、心の外には何も実在しない。
- ③ 万物は、相対的・差異的に見えようとも、本来的には平等一体である。
- ④ 何かが存在していると考えるのは間違っており、この世は虚無である。

倫 理

問 9 本文の趣旨を踏まえて、Aに入れる記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。19

- ① 現代社会において、人々が「ありのままのあなた」や「ありのままの私」に肯定的な響きを感じるのは、現代が、何ものにも一切縛られず、人々が自らの意志に従って、多様化した価値観を自由に追求できる時代だからだとも言えるだろう。
- ② 現代社会において、人々が「ありのままのあなた」や「ありのままの私」に肯定的な響きを感じるのは、めまぐるしく変化する時代に^{あらが}抗わず、人々が画一的な価値観に従って生きた方がよいと考えるようになったからだとも言えるだろう。
- ③ 現代社会において、人々が「ありのままのあなた」や「ありのままの私」に肯定的な響きを感じるのは、価値観が多様化しているにもかかわらず、現代が、特定の価値観を人々に押しつけて自由を強く束縛する時代だからだとも言えるだろう。
- ④ 現代社会において、人々が「ありのままのあなた」や「ありのままの私」に肯定的な響きを感じるのは、現代が、価値観がめまぐるしく変化しすぎて、人々が生きていく指針となる支配的な価値観のない時代だからだとも言えるだろう。

(下 書 き 用 紙)

倫理の試験問題は次に続く。

第3問 次の文章を読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(配点 24)

多くの現代人は、仏教の説くように、悪いことをすれば死んで地獄に行くなどとは思わない。しかし、日本文学の特異ジャンルである私小説の多くが心の闇、すなわち地獄を描くように、地獄は今なお、私たちの心をとらえて放さない。

大乘仏教において、地獄の思想を発展させたのは、六つの迷いの世界を深く観想すべきことを説いた中国の天台智顗である。しかし、日本の仏教は、伝来当時から奈良時代までは、宇宙の神秘を解き明かす①華嚴經などの研究が中心であった。記紀神話が説く黄泉とは異なる地獄の思想が日本人の思惟に大きな影を落とすことになったのは、最澄によって天台宗が日本に本格的に移入され、②日本の神々をも自らの思想体系に取り込み体系化してからである。

平安時代の『源氏物語』や『新古今集』にも、その影を見いだすことができる。江戸の国学者は、それらに③古代日本の精神が表現されているとしたが、観音霊場の石山寺で『源氏物語』の着想を得た紫式部は仏教の篤い信仰者であり、『新古今集』の撰者の一人である藤原定家は④天台宗の仏道修行の一つを説いた『摩訶止観』の熱心な読者であった。国学者は、外来思想であることを理由に、日本人の精神形成に大きな影響を与えた仏教を排斥したが、それは必ずしも適切なことではなかった。

ところで、仏教が伝える地獄の思想を日本人の心に深く刻み込んだのは、平安末期の天台僧の⑤源信による『往生要集』である。その大きな影響を受けた法然や親鸞には、現世を地獄と同一視する傾向が見られる。彼らは、天台宗のように六道や十界の観想によって⑥救済を得るのではなく、己が地獄を生きる凡夫であるという自覚から、西方浄土を念ずることによって極楽往生しようとした。

この浄土思想とともに、地獄の思想は庶民へも広まった。今日でも、多くの信者を抱える浄土教系寺院で⑦地獄絵を見かける。仏教思想を理解できない庶民の教化のために描かれたものである。彼らも地獄絵を見て、地獄を知り、怯え、そして道徳的に振る舞おうとした。しかし同時に、それは人生の苦と不浄、⑧己の罪深さ、まさに地獄を生きる己の魂をも現実味をもって見つめさせたのである。

このように見てくると、仏教が教えた地獄なるものは、多くの日本人に、ただ死後の世界の恐怖を植えつけただけでは終わらなかった。むしろ、A。

問 1 下線部③に関して、教学研究をめぐる奈良仏教のあり方の説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① 華嚴宗や法相宗などの南都六宗が、国家への奉仕を求める政治権力を嫌って、世俗を離れ教学研究を行う山岳仏教として栄えた。
- ② 官僧は朝廷から保護と同時に制約も受けたが、教学研究を深めるために、他宗を学んだり他寺へ行って学んだりすることができた。
- ③ すべての宗派が、修行すれば誰でも仏に成れるという大乘仏教の根本教理を共有し、身分や性別に基づく差別的な成仏観を否定した。
- ④ 授戒制度が確立していなかったため、官許のない私度僧集団でも、いかなる制約も受けずに民衆への布教活動や教学研究ができた。

倫 理

問2 下線部⑥に関連して、次の文章は、古代日本における神仏の関係を論じたものである。□a□～□c□に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 □21□

古来の神々への信仰は、次第に仏教と融け合い、役行者^{えんのぎょうじや}(役小角^{えんのおづぬ})を開祖とする□a□などに見られるように、神仏習合(神仏混淆^{こんこう})と呼ばれる独自の信仰形態を生みだした。神仏習合が盛んになった平安時代には、□b□仮に世俗の世界に姿を現したものであるとする本地垂迹説が説かれた。しかし鎌倉時代には、蒙古襲来^{もうこう}をきっかけに生まれた神国思想が背景となって、□c□を中心に、両者の関係を逆転させた反本地垂迹説が唱えられた。

- | | | | | | | |
|---|---|-----|---|-------------------|---|------|
| ① | a | 修験道 | b | 仏や菩薩は、神々が人々を救うために | c | 伊勢神宮 |
| ② | a | 修験道 | b | 仏や菩薩は、神々が人々を救うために | c | 金剛峯寺 |
| ③ | a | 修験道 | b | 神々は、仏や菩薩が人々を救うために | c | 伊勢神宮 |
| ④ | a | 修験道 | b | 神々は、仏や菩薩が人々を救うために | c | 金剛峯寺 |
| ⑤ | a | 陰陽道 | b | 仏や菩薩は、神々が人々を救うために | c | 伊勢神宮 |
| ⑥ | a | 陰陽道 | b | 仏や菩薩は、神々が人々を救うために | c | 金剛峯寺 |
| ⑦ | a | 陰陽道 | b | 神々は、仏や菩薩が人々を救うために | c | 伊勢神宮 |
| ⑧ | a | 陰陽道 | b | 神々は、仏や菩薩が人々を救うために | c | 金剛峯寺 |

問3 下線部③に関連して、日本人の信仰や行動には、この世のあらゆるものに靈魂や精霊が宿ると信じるアニミズムの影響が見られるものがある。その具体例として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 □22□

- ① 神社などにある巨木や巨岩^{しめなわ}に注連縄を張って、信仰の対象とする。
- ② 世界を創った唯一絶対の神的存在者を信仰の対象とする。
- ③ 全知全能の神は、いかなる偶像によっても表現され得ないとする。
- ④ 自然界のあらゆる事象は、陰と陽の二気から生じるとする。

問4 下線部㉔に関連して、仏道修行一般に対する最澄の考え方の説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① 生きとし生けるものはすべて生まれながらに仏に成れる可能性を具えているのだから、ことさらに戒律を守って仏道を修する必要はなく、生まれながらに悟っているということを自覚するだけでよい。
- ② 末法の世において人はもはや仏道修行ができないから、法華經の教えを聞いて常住不滅の仏が教導・救護していることを思い、ひたすら「南無妙法蓮華經」と題目を唱え、心に大きな喜びを感じればよい。
- ③ 人に仏性があっても、仏道修行を行わないとそれは発現しないのだから、仏の真実の教えである密教の修行である三密の行を修して、その身のままで成仏し、菩薩行に徹しなければならない。
- ④ 人は誰でも仏性を具えているのだから、仏教の真理を広めて世の中の一隅を照らす人となれるように、仏教を求める心をもった国宝として、自己を省みず利他を尽くす仏道修行に邁進しなければならない。

問5 下線部㉕に関連して、『往生要集』の冒頭の章名に由来し、当時の世情の不安を救う教えとして人々の心のなかにしみ込んでいった源信の思想を示す言葉として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① 愛別離苦，怨憎会苦
- ② 世間虚仮，唯仏是真
- ③ 厭離穢土，欣求浄土
- ④ 不立文字，以心伝心

倫 理

問 6 下線部①に関して、次のア～エは、鎌倉期に活躍した人物の「救済」についての教えを説明したものであるが、それぞれ誰のことか。その組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 25

ア 「南無阿弥陀仏」と名号を口に称^{とな}えていれば、臨終の際、阿弥陀仏が紫雲に乗ってやってきて、極楽浄土に救い導いてくれると説いた。

イ 念仏を唱えるよりも、まず菩提^{ぼだい}(悟りや仏果)を得ようとする菩提心を発することによって、人は救済の道を歩むことができると説いた。

ウ 念仏でさえ阿弥陀仏のはからいだから、人為を捨て、この世に遍^{あまね}く行き渡っている阿弥陀仏の救済の働きにまかせきることが必要だと説いた。

エ 末法の教えは方便に過ぎず、修行と悟りは不二一体だから、行住坐臥に心を尽くして努力することのうちに自らが救われている証があると説いた。

- | | | | | | | | | |
|---|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|
| ① | ア | 親 鸞 | イ | 明 恵 | ウ | 法 然 | エ | 道 元 |
| ② | ア | 親 鸞 | イ | 明 恵 | ウ | 法 然 | エ | 栄 西 |
| ③ | ア | 親 鸞 | イ | 一 遍 | ウ | 法 然 | エ | 道 元 |
| ④ | ア | 親 鸞 | イ | 一 遍 | ウ | 法 然 | エ | 栄 西 |
| ⑤ | ア | 法 然 | イ | 明 恵 | ウ | 親 鸞 | エ | 道 元 |
| ⑥ | ア | 法 然 | イ | 明 恵 | ウ | 親 鸞 | エ | 栄 西 |
| ⑦ | ア | 法 然 | イ | 一 遍 | ウ | 親 鸞 | エ | 道 元 |
| ⑧ | ア | 法 然 | イ | 一 遍 | ウ | 親 鸞 | エ | 栄 西 |

問7 下線部⑧に関連して、仏教思想は地獄絵のみならず、日本の文学にも大きな影響を与えた。そうした仏教の影響を受けた文学についての記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず」で始まる鴨長明の『方丈記』は、隠棲者が見たこの世の「はかなさ」を表現している。
- ② 「月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり」で始まる松尾芭蕉の『奥の細道』は、旅に生きる世捨て人の「みやび」を主題としている。
- ③ 「秘すれば花」という言葉で知られる世阿弥の『風姿花伝』は、静寂さのなかにある神秘的な奥深さの「いき」を能楽の追求する美としている。
- ④ 「願わくは花の下にて春死なむ。そのきさらぎの望月のころ」と謳った千利休の『山家集』は、我が身を自然に委ねる「あはれ」を主題としている。

問 8 下線部⑤に関連して、民芸運動を起こした柳宗悦が、地獄や極楽について論じた次の文章を読み、「理知的な人々」に対する彼の批判について説明した文章として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 27

ここで極楽と地獄との問題に触れておこう。理知的な人々は……「どこにそんな世界が客観として容認されるのか、宗教的妄想が醸し出した迷信に過ぎない」。そうにべもなくいうであろう。しかし地獄極楽の存在は、罪に泣く者にも、切に知られているのである。それらの二界が存在しないというのは、罪への反省を失った者の非難に過ぎない。それがあつかないかは、^{ひと}偏^{ひと}えに罪の意識にかかる。なぜなら罪に在ることが地獄に在ることである。罪のその場所が地獄なのであり、^{ならく}奈落*なのである。地獄を否むということは、罪の自覚を持たない者の傲慢なまたは愚鈍な見方に過ぎない。罪への想いが身を襲うことと地獄が身に迫ることは同時なのである。だが不思議である。罪に泣かずして、どうして救いを求め得よう。……地獄があれば、必定極楽はあるのである。

(『南無阿弥陀仏』より)

*奈落：地獄のこと

- ① 理知的な人々の「極楽と地獄などありはしない」という批判は、的外れである。なぜなら、地獄や極楽の実在は、罪や救いといった宗教的課題とは無関係だからである。
- ② 理知的な人々の「極楽と地獄などありはしない」という批判は、的外れである。なぜなら、罪の意識の有無に関係なく、地獄や極楽は客観的に実在するからである。
- ③ 理知的な人々の「極楽と地獄などありはしない」という批判は、的外れである。なぜなら、地獄や極楽とは、意識の対象とはならない死後の世界だからである。
- ④ 理知的な人々の「極楽と地獄などありはしない」という批判は、的外れである。なぜなら、そもそも罪の自覚があるからこそ地獄を意識することができるからである。

問9 本文の趣旨を踏まえて、Aに入れる記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。28

- ① 日本人は、仏教が伝来するまで死者の魂がどこに行くのか全く考えようとしなかったが、地獄を知ったことで、死者が行く世界を明確に意識するようになった。その結果、日本人は絶望の淵へと突き落とされ、恐怖を募らせたのである
- ② 地獄という観念は、日本人に、振り返って自らの現実の生を見つめ直す自己反省をも促したのである。さらには、自らの無力や現実の生のニヒリズムにも耐える気力のみならず、人生の闇をも直視する勇気を呼び起こしたのである
- ③ 人は死後、誰もが最後の審判を受けなければならないことを知り、日本人はますます死後の世界から目をそらして考えないようになった。その結果、地獄という観念は、日本人から自らの生を考える哲学的な思索の営みを奪ったのである
- ④ 死後に地獄に行こうとも、現世を浮き世とみなしていた日本人は、ますます神仏などの超越者には頼らず生きていくようになった。すなわち、地獄という観念は、日本人に現実の生を力強く生きていく自力救済の意志を植えつけたのである

第4問 次の文章を読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(配点 24)

「方法」という言葉は、近代の初めには新鮮な響きをもっていたと言われる。ここでは、西洋の近代哲学が確実な真理を探究するための「方法」への関心の高まりとともに誕生したことの意味を、デカルトに焦点を当てながら考えてみたい。

中世以来の①普遍的世界像が大きく揺らいだ時代に、デカルトは知的自叙伝とも言える『方法序説』を著し、理性を正しく導く方法について論じた。そのなかで彼は、書物から得た知識を疑い、「世界という大きな書物」に学ぼうと旅立った若き日々を回想している。彼が旅から学んだのは、人々の考えに見られる多様性と、共通の知的基盤の欠如であった。この挿話は、封建勢力と新興勢力の争いを背景に②キリスト教の新旧両派が激突し、国内的にも国際的にも紛争が絶えなかった当時のヨーロッパ社会の混沌とした状況を反映している。

デカルトはまた、人々の考えの多様性や才気の有無などにかかわらず、理性が万人に等しく備わっているという確信を旅から得た。この確信こそ、誰もが同意できる原理に基づいて③学問を刷新する方法の探求へと彼を駆り立てた原動力であった。こうして、確実な知識の基礎を求めて徹底的な懐疑を断行したデカルトは、「考える私」の存在という明らかな真理に辿り着き、これを基点に④新たな学問の地平を開拓しようとした。このような試みには、自らの自由意志の命じるままに人生を切り拓こうとする⑤ルネサンス的な人間像が投影されていると言えよう。

すでに⑥自然学や数学の研究でも成果をあげていたデカルトは、自らの方法が、単なる説明の方法にすぎないスコラ哲学の論理と違い、理性に基づく新たな真理の発見を通じて人間を自然界の主人にするための画期的なものであることに自信をもった。「方法」へのデカルトの関心は、人間による自然の解明・支配という目的と不可分であった。しかし、彼が主張した⑦心身二元論は、同時代人の厳しい批判にさらされた。⑧デカルト以後の近代哲学は、彼の「方法」に対する関心を継承しながらも、その理論的前提への批判という形で多彩な展開を見せることになった。

デカルトの方法が目指した科学技術の発展は、人類に多くの恩恵をもたらした反面、環境破壊などの危機を招くことにもなった。近代的理性への反省が迫られている現代は、理性を正しく導く方法が改めて問い直されるべき時代なのだと言えよう。

問1 下線部②に関連して、次の文章は、旧来の世界像が動揺し、人々が疫病や戦争の恐怖にさらされていた16～17世紀のフランスで、人間の生き方や尊厳について思索したモリストについて説明したものである。[a] ～ [c] に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

29

ペストの流行や凄惨なユグノー戦争を体験したモンテーニュは、人々の精神的怠惰から生じる独断、偏見、不寛容こそ人間から尊厳を奪う元凶であるとした。そして、「[a]」という言葉をもットー(信条)に掲げた彼は、自己省察を繰り返すことで、豊かさに満ちた各人各様の人生の意義を謙虚に認めるべきだと主張した。また、人間の[b]を「考える葦」という言葉で表したパスカルは、人間には、物事を合理的に捉える幾何学的精神だけでなく、不安定で矛盾に満ちた人生の深い意味を直感する[c]が必要だと説いた。

- | | | | |
|---|-----------|---------|---------|
| ① | a 知は力なり | b 理性と感情 | c 繊細の精神 |
| ② | a 私は何を知るか | b 偉大と悲惨 | c 高邁の精神 |
| ③ | a 知は力なり | b 偉大と悲惨 | c 繊細の精神 |
| ④ | a 私は何を知るか | b 理性と感情 | c 高邁の精神 |
| ⑤ | a 知は力なり | b 理性と感情 | c 高邁の精神 |
| ⑥ | a 私は何を知るか | b 偉大と悲惨 | c 繊細の精神 |

倫 理

問 2 下線部⑤に関連して、当時のカトリック教会を批判して宗教改革の先頭に立ったルターについての説明として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

30

- ① 人間が神によって義(正しい)とされるのはただ信仰のみによるのであり、教会が奨励する善行や儀式によるのではないと説いた。
- ② 教会による贖宥状しよくゆうの販売を批判し、信仰の拠りどころは神の言葉が記された『聖書』のみであると主張した。
- ③ 聖職者は特別な存在ではなく、各人が自らの責任において信仰に徹するとき、すべての人は等しく司祭となると説いた。
- ④ 職業の世襲制に反対し、職業選択は神の意志とは関わりなく各人の自由意志のみに基づいて行われるべきであると主張した。

問3 下線部㉔に関連して、イギリスの哲学者ベーコンは、デカルトにやや先立ってスコラ哲学が空虚な議論に陥っていることを批判し、学問の革新を唱えた。ベーコンが学問的知識の伝達について述べた次の文章の説明として最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 31

ひとは自分の知識と信念の基礎にまでたちかえり降りていって、それが自分の精神のなかで成長したとおりに、他人の精神のなかに移植することができるものである。というのは、知識も植物の場合と同じだからである。すなわち、利用しようと思うなら、根は問題ではないが、しかし移植して成長させようと思うなら、さし木によりも根にたよるほうが確実なのである。同じように、知識の伝達も(現在行なわれているところでは)根のない木の美しい幹の運搬のようなものであって、大工にはそれでもよいが、植木師には向かない。しかし、諸学を成長させようとする場合には、根を掘りおこすのによく注意すれば、木の茎や幹はたいして問題ではない。

(『学問の進歩』より)

- ① 学問を発展させるためには、学問の成果である知識をいかに利用するかが最も重要であるから、どの知識が何に役立つのかを明らかにして伝達することが大切である。
- ② 学問を発展させるためには、どの職業の人にも等しく役立つように、学問の成果としての個々の知識ではなく、学問の精神である向学心を伝達することが大切である。
- ③ 学問を発展させるためには、単に知識を伝達するだけではなく、知識が獲得された過程をその基礎にまでさかのぼって確かめ、その過程を伝達することが大切である。
- ④ 学問を発展させるためには、植物の移植が根よりも幹や茎を大事にしながら行われるのと同じように、実際の役に立つ個々の知識に限って伝達することが大切である。

倫 理

問 4 下線部④に関連して、次のア～エはデカルトが確実な学問を構築するために自らに課した「方法の規則」についての記述である。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 32

ア 洞窟のイドラなどの先入見を排して観察や実験を行い、そこから得られた様々な結果から一般的法則を見いだすこと。

イ あらゆる事物を、世界の究極目的につながる何らかの目的に向かって生成変化しているものとして階層的に捉えること。

ウ 最も単純で最も認識しやすい対象から始めて、少しずつ段階を踏んで、最も複雑なものの認識にまでのぼっていくこと。

エ あらゆる事物を、それ自体に内在する対立・矛盾を契機としてより高次の段階へと発展していくものとして考えること。

- | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|
| ① | ア 正 | イ 正 | ウ 誤 | エ 正 |
| ② | ア 正 | イ 正 | ウ 誤 | エ 誤 |
| ③ | ア 正 | イ 誤 | ウ 正 | エ 正 |
| ④ | ア 正 | イ 誤 | ウ 正 | エ 誤 |
| ⑤ | ア 誤 | イ 正 | ウ 正 | エ 誤 |
| ⑥ | ア 誤 | イ 正 | ウ 誤 | エ 正 |
| ⑦ | ア 誤 | イ 誤 | ウ 正 | エ 誤 |
| ⑧ | ア 誤 | イ 誤 | ウ 誤 | エ 正 |

問5 下線部㉔に関連して、次のア～ウはルネサンス期の思想家についての説明であるが、それぞれ誰についての説明か。その組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 33

ア 大事業をなしとげる理想の君主は、公明正大で信義にあつい君主ではなく、キツネのずる賢さとライオンの強さとを兼ね具えた、人々に恐れられる君主であると説いた。

イ 地上のすべてのものは定められた法則にしばられているが、人間だけは、自らの自由な意志によって、自分の欲するものになるように神によって定められていると説いた。

ウ 『ユートピア』と題する著作のなかで、私有財産制がなく理性と正義が尊重される理想国の姿を描くことによって、貧困と不寛容が蔓延する現実の社会を風刺した。

- | | |
|-----------------|---------------|
| ① ア トマス・モア | イ マキアヴェリ |
| ウ ピコ・デラ・ミランドラ | |
| ② ア トマス・モア | イ ピコ・デラ・ミランドラ |
| ウ マキアヴェリ | |
| ③ ア マキアヴェリ | イ トマス・モア |
| ウ ピコ・デラ・ミランドラ | |
| ④ ア マキアヴェリ | イ ピコ・デラ・ミランドラ |
| ウ トマス・モア | |
| ⑤ ア ピコ・デラ・ミランドラ | イ トマス・モア |
| ウ マキアヴェリ | |
| ⑥ ア ピコ・デラ・ミランドラ | イ マキアヴェリ |
| ウ トマス・モア | |

倫 理

問 6 下線部①に関連して、科学革命の立役者の一人であるガリレイの著作として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- ① 『天球の回転について』
- ② 『天文対話』
- ③ 『プリンキピア(自然哲学の数学的原理)』
- ④ 『ノヴム・オルガヌム(新機関)』

問 7 下線部⑧に関連して、デカルトの合理主義を継承しながらも、精神と物体(身体)をそれぞれ独立した存在として捉える彼の心身(物心)二元論とは異なる立場をとったスピノザの見解についての説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① 人間の幸福は、唯一の実体である神の現れとしての自然の必然性を、永遠の相のもとに認識することのうちにあったとした。
- ② 世界は、分割不可能な精神的実体であるモナド(单子)から構成されており、全体として調和するように定められているとした。
- ③ 人間の認識は、感性によって外界から得られた素材を、理性が先天的な形式によって能動的に構成することで成り立つとした。
- ④ 世界の諸現象は、大小様々な無数の原子が、無限に広がる空虚のなかで離合集散することによって生じているとした。

問 8 下線部⑨に関連して、ロックの思想についての説明として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 36

- ① 「存在するとは知覚されていることである」として物体を実体とみなす考え方を否定し、知覚する精神とその根拠である神だけが実在すると主張した。
- ② 人間の心は「知覚の束」にすぎないとして、精神や自我を実体とみなす考え方と物体を実体とみなす考え方のいずれも否定した。
- ③ 人間の心はもともと「タブラ・ラサ(白紙)」であるとして生得観念の存在を否定し、すべての観念は経験と反省に由来すると主張した。
- ④ 「語り得ぬことについては沈黙せねばならない」と述べ、哲学の任務は経験的に真偽が検証できる有意味な判断を扱うことにあるとした。

倫 理

問 9 本文の内容に合致する記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 37

- ① 「方法」に対するデカルトの関心は，理性が万人に平等に分配されているという前提に支えられていた。しかし，デカルト以後の近代哲学は，その前提を根本から覆し，「方法」に対する関心が継承されないままに発展したため，科学技術の暴走を制御する方法を確立できなかった。
- ② 「方法」に対するデカルトの関心は，スコラ哲学に代表される旧来の学問への不信に基づいていた。しかし，デカルトが確実な学問を築くために示した方法は，すでに知られている知識を説明するための方法にすぎなかったため，新たな発見を次々ともたらす近代科学の方法の前では無力であった。
- ③ 「方法」に対するデカルトの関心は，自由意志に従って人生を切り拓こうとするルネサンス的人間像への抵抗から生まれた。しかし，自由意志の主体としての個人よりも人類全体の利益の実現を優先して構想されたデカルトの哲学は，その後の科学技術の暴走という事態を招く遠因ともなった。
- ④ 「方法」に対するデカルトの関心は，自然の解明を通じて人間による自然の支配を達成するという目標と不可分であった。しかし，近代以降の科学技術の進展が，デカルトの目標を超えて環境破壊の危機にもつながることが明らかとなった今，理性を正しく導く方法の再検討が求められている。

(下 書 き 用 紙)

政 治 ・ 経 済

(解答番号 ~)

第1問 次の文章を読み、下の問い(問1～10)に答えよ。(配点 28)

近代国家は、教会の権威と封建制度が崩壊する過程でヨーロッパに成立した絶対主義国家を端緒とする。絶対主義国家は、国内においては国王が絶対的権力をもって中央集権的な政治を行う一方、対外的な自立を図った。この国家の対外的独立性については、三十年戦争に終止符を打つために開かれたウェストファリア会議で①各国の主権が承認され、その結果、独立した国家を基本単位として構成される②国際社会がヨーロッパで成立した。

その後、17世紀から18世紀にかけて起こった③市民革命で絶対主義国家が打倒され、④人権保障と権力分立を柱とする⑤近代憲法の下で自由で平等な個人の私的自治を原則とする市民社会が発達し、近代民主政治が確立された。また、この時期の国家の役割は、⑥市場原理を重視する経済思想を背景として、社会の秩序維持や国防など必要最小限度に限られるべきだとされた。

しかし、資本主義経済が発展するとともに、深刻な貧困問題や労働問題が発生するようになると、国家が国民の社会・経済活動に積極的に介入し、社会的・経済的弱者の救済に努めることが求められるようになった。とりわけ1929年にアメリカから始まった⑦世界恐慌を契機として、⑧経済を調整してその安定を図り、国民の福祉を実現することが資本主義国家の重要な課題となった。

経済や国民の生活に対するこうした国家の広範な政策的介入は一定の成果を収め、第二次世界大戦後、先進各国は経済成長を果たした。しかし、国家の役割の拡大は財政の肥大化や経済の活力の低下を招き、1970年代になると経済への国家の行きすぎた介入に対する批判が広がった。また、国家の権限の行政府への集中による⑨民主的統制の後退も懸念されるようになってきた。そのため、先進諸国は⑩「小さな政府」をめざして行財政改革を行うなど、さまざまな分野で改革を進めている。

問 1 下線部②と同じ意味で「主権」という言葉が用いられている例として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 1

- ① 「天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であつて、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基く」(日本国憲法第 1 条)
- ② 「あらゆる主権の原理は、本来、国民のうちにある」(フランス人権宣言第 3 条)
- ③ 「日本国の主権は、本州、北海道、九州及四国並に吾等の決定する諸小島に局限せらるべし」(ポツダム宣言第 8 条)
- ④ 「この機構は、そのすべての加盟国の主権平等の原則に基礎をおいている」(国際連合憲章第 2 条)

問 2 下線部⑥についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 2

- ① 排他的経済水域には沿岸国の支配権が及ぶため、この水域を外国の船舶が自由に航行することはできない。
- ② 現代では、国際関係の緊密化に伴って、多数国間条約を締結したり国際慣習法を成文化する動きが盛んになっている。
- ③ 国家間の紛争や個人・企業など私人間の国際紛争を平和的に解決するため、国際司法裁判所が設けられている。
- ④ 国際連合は、国際社会の平和と安全を維持するため、集団的自衛権に基づいて国連軍を組織し、武力制裁(軍事的強制措置)を行うことができる。

政治・経済

問3 下線部㉔に大きな影響を与えた思想家A～Cと、その主張内容ア～ウとの組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 3

- A ホッブズ
- B ロック
- C ルソー

ア 私有財産制の成立により失われた自由と平等を回復するには、社会契約を結び、人民を主権者とする政治共同体を形成しなければならない。

イ 政府が国民の生命・自由・財産に対する権利を侵害した場合、国民は政府に抵抗しそれを変更する権利をもつ。

ウ 自然状態は万人の万人に対する闘争の状態にあるので、絶対的権力をもつ国家を形成し、平和を確立する必要がある。

- ① A — ア B — イ C — ウ
- ② A — ア B — ウ C — イ
- ③ A — イ B — ア C — ウ
- ④ A — イ B — ウ C — ア
- ⑤ A — ウ B — ア C — イ
- ⑥ A — ウ B — イ C — ア

問 4 下線部㉔に関連して、人権を保障する原理である法の支配や権力分立についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① コーク(クック)は、国王といえども法に従うべきであると主張し、国王の恣意的な権力行使を批判した。
- ② 第二次世界大戦前の日本では、法の支配の思想を継受した大日本帝国憲法の下で、法律に対する違憲審査権が裁判所に認められていた。
- ③ 権力分立の原理は、ボダンやグロチウスによって理論的に基礎づけられた。
- ④ 社会主義国の政治体制は、厳格な権力分立の原理に基づいている。

問 5 下線部㉕に大きな影響を与えた1789年のフランス人権宣言で自然権とされた権利として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

- ① 労働者の団結する権利
- ② 男女が平等に国政に参加する権利
- ③ 人たるに値する生活を営む権利
- ④ 財産を所有する権利

問 6 下線部㉖を代表する経済学者であるアダム・スミスの主張として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 6

- ① 経済発展を実現するためには、政府による保護貿易政策が必要である。
- ② 人々の自由な経済活動が、結果として社会全体の富を増加させる。
- ③ 技術革新による「創造的破壊」が経済発展の原動力である。
- ④ 「見えざる手」である政府の調整作用が経済活動の調和をもたらす。

政治・経済

問 7 下線部⑧に関連して、世界恐慌とその後の1930年代の世界的な不況期に各国がとった対応として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

7

- ① 主要国はブレトンウッズ協定を結んで外国為替相場の安定を図り、貿易の拡大をめざした。
- ② 経済政策を機動的に行うため、各国は国内の通貨制度を管理通貨制から金本位制に転換した。
- ③ アメリカでは、TVA(テネシー川流域開発公社)が設立され、不況対策として大規模な公共事業が行われた。
- ④ イギリスでは、ベバリッジ報告に基づいて社会保障制度が整備され、失業者や生活困窮者の救済が図られた。

問 8 下線部⑨の考えに沿った経済政策として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

8

- ① 不況期には一時的に財政赤字が拡大しても財政支出を増やし、有効需要の創出に努める。
- ② 生産手段の国有化を推し進め、経済活動が適切に行われるように計画経済の下で政府が経済を主導する。
- ③ 市場メカニズムによる経済の調整を信頼し、政府が市場における家計や企業の自由な活動を認める。
- ④ 政府の経済的役割を、通貨量を適切に管理し、物価を安定させることに限定する。

問9 下線部①に関連して、次のA～Cのうち、行政の民主的統制や民主化を強化・促進する手法の例といえるのはどれか。最も適当なものを、下の①～⑦のうちから一つ選べ。 9

A パブリック・コメントの導入

B 情報公開制度の整備

C オンブズマンの設置

① A

② B

③ C

④ AとB

⑤ AとC

⑥ BとC

⑦ AとBとC

問10 下線部①について、2000年代以降に日本で行われた改革の記述として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 10

① 高速道路の建設や管理を行ってきた特殊法人が民営化された。

② 国立美術館や国立病院など国の政策の実施部門を中央省庁から切り離し、独立行政法人が設立された。

③ 郵便・郵便貯金・簡易保険の郵政三事業が民営化された。

④ 日本電信電話公社、日本専売公社、日本国有鉄道の三公社が民営化された。

第2問 次の会話文を読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(配点 17)

生徒：この前、「㉑会社は誰のものか」という議論があるという話を聞きました。
それまでは、㉒株式会社の所有者は株主だと素朴に思っていたのですが、
ちょっと考えてみたら、だんだんわからなくなってきました。

先生：授業でも取り上げたように、確かに株式会社の所有者は株主です。

生徒：そうならば、株式会社は株主のために活動すればいいということになりませんか。普通、「自分のもの」ならば、自分のために自由に使えるはずですよ。一方で、企業の社会的責任ということがいわれるように、会社は株主のためだけでなく、㉓それ以外の人たちのために活動することも必要なわけでしょうから、そうすると「社会のもの」とみることもできるのではないですか。

先生：なるほど、そういう疑問ですか。「会社は誰のためのものか」というのは、難しい問題ですね。会社の利害関係者というと、株主のほかにはどんな人たちがいますか。

生徒：㉔勤務している会社のあり方は従業員の生活に大きな影響を与えますから、まず思い浮かぶのは従業員です。あと、商品を購入する人がいなければ会社は存続できませんし、人々も商品を提供してくれる会社がなければ生活できないわけですから、㉕消費者もそうです。

先生：それだけでしょうか。先日の授業では公害問題を扱いました。

生徒：あ、地域住民も利害関係者に入ります。あと、その会社と取引している企業もそうです。たとえば下請企業の場合、とくに㉖中小企業は、親会社の動向によって大きく経営が左右されると聞きます。

先生：考えていくと、まだまだ出てきそうですね。あなたの問題意識からすると、会社は「株主」だけでなく、「従業員」や「消費者」のものともいえ、いろいろな答えがありそうです。

生徒：やはり、なかなか簡単な問題ではないわけですね。「会社は社会のもの」ということもできそうですが、もう少し考えてみたいと思います。

問 1 下線部③に関連して、企業や企業活動についての記述として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- ① 環境保全への取組みに関する標準を定めた国際規格である ISO14000 シリーズの認証を受ける企業がみられる。
- ② 日本の会社法では、企業の運営方法や利益分配を会社の規則で比較的自由に定めることができる合同会社を設立することが認められている。
- ③ 相互に関連性のない事業を多角的に展開するコングロマリット(複合企業)と呼ばれる企業形態がある。
- ④ 第三セクターは、国・地方自治体と民間企業が共同出資して設置される事業体であり、公企業に分類される。

問 2 下線部⑥に関連して、日本における株式会社についての記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- ① 株式会社の最高意思決定機関は株主総会である。
- ② 株主は会社の債務に対して無限責任を負っている。
- ③ 株式会社は他の企業の株式を保有することができない。
- ④ 株式会社の設立には、1000万円以上の資本金が必要である。

政治・経済

問3 下線部㉔に関連して、企業と社会とのかかわりをめぐる用語A～Cと、その説明ア～ウとの組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

13

A コーポレートガバナンス

B インターンシップ

C メセナ

ア 在学中の学生・生徒が、自分の専攻や興味関心に関連した職業体験をすること。

イ 社外取締役を導入するなどして、企業経営の健全性や透明性を確保する仕組みや制度のこと。

ウ 企業が文化・芸術活動を支援すること。

① A－ア B－イ C－ウ

② A－ア B－ウ C－イ

③ A－イ B－ア C－ウ

④ A－イ B－ウ C－ア

⑤ A－ウ B－ア C－イ

⑥ A－ウ B－イ C－ア

問4 下線部④に関連して、次の表は、日本における従業上の地位別就業者数の推移を示したものである。表中のA～Dに当てはまる項目名の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 14

(単位：千人)

	A			B		
	C	D	家族 従業者	C	D	家族 従業者
1950年	1,738	3,661	8,533	7,709	10,498	3,862
1970年	2,882	10,962	6,763	7,366	22,802	1,813
1990年	2,125	18,418	3,890	6,180	30,189	874
2010年	1,287	21,508	1,833	4,291	27,959	489

(資料) 矢野恒太記念会編『数字で見る日本の100年(改訂第6版)』により作成。

- ① A — 男性 B — 女性 C — 雇用者 D — 自営業者
 ② A — 男性 B — 女性 C — 自営業者 D — 雇用者
 ③ A — 女性 B — 男性 C — 雇用者 D — 自営業者
 ④ A — 女性 B — 男性 C — 自営業者 D — 雇用者

政治・経済

問 5 下線部㉔に関連して、日本における消費者政策についての記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① 欠陥製品による被害に対して、製造者の無過失責任を認める法律はない。
- ② 一定期間内なら違約金を支払うことなく消費者が契約解除できる制度を盛り込んだ法律がある。
- ③ 貸金業者が消費者に資金を貸し出す際の利率(利子率)の上限を定めた法律はない。
- ④ マルチ商法(連鎖販売取引)の促進を目的とする法律がある。

問 6 下線部㉕についての記述として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① 独自の技術やノウハウがなく、資金の調達力にも乏しい中小企業のことをベンチャー企業という。
- ② 地域の伝統や特性を活かして特産品を生産する地場産業は、主に中小企業によって支えられている。
- ③ 中小企業の中にはきわめて高い技術力をもち、ハイテク製品に不可欠な部品の製造を担っている企業がある。
- ④ 市場が小さく大企業が進出していないニッチ(隙間)産業に活路をみいだし、収益をあげている中小企業が存在する。

(下書き用紙)

政治・経済の試験問題は次に続く。

第3問 次の文章を読み、下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 19)

社会の秩序を維持するためには、法が不可欠である。ここでは、㉑統治機構が法の成立やその運用のために果たしている役割について、日本を例にみていこう。

衆議院と参議院という二つの議院からなる㉒国会は、日本国憲法第41条で「国の唯一の立法機関」と位置づけられ、㉓国民の選挙で選ばれた議員により法が制定される。

こうして制定された法を執行し、その理念を実現させるのは、行政機関である㉔内閣の役割である。内閣総理大臣を首長とする内閣の下に各種の省庁が設置され、それらが法に基づきさまざまな行政サービスを国民に提供している。また、行政自体が法により拘束され、行政による不法行為や人権侵害の抑止が図られている。

さらに、法による秩序が確保されるためには、司法機関である㉕裁判所がその役割を十分に果たすことが不可欠である。裁判所は、法を犯した者の処罰や法による紛争の解決を行い、憲法に違反する国家権力の不当な行使を防ぐため、違憲審査権をもっている。

適切な法が制定され、それが本来の目的に即して運用されるには、㉖統治機構が適正に機能することが重要であるが、そのためには、国民が統治機構の運営に主体的にかかわっていくことが大切である。国民が、選挙を通じて自らの意思を明確に示し、また、行政機関の活動に絶えず監視の目を向けなければ、法の適切な形成や運用を期すことはできない。近年進められてきた㉗国民の司法参加への取組みは、国民の統治機構に対するそうした主体的な関与に途を開く一つの試みといえるだろう。

問 1 下線部②に関連して，各国の議会についての次の説明 A ～ C と，国名 ア ～ ウとの組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 17

A 一院制であり，広範な権限をもつ国家権力の最高機関である。

B 民選の議院と非民選の議院により構成され，民選の議院の優越が認められている。

C とともに民選の二つの議院から構成される。

ア 中 国

イ アメリカ

ウ イギリス

① A — ア B — イ C — ウ

② A — ア B — ウ C — イ

③ A — イ B — ア C — ウ

④ A — イ B — ウ C — ア

⑤ A — ウ B — ア C — イ

⑥ A — ウ B — イ C — ア

政治・経済

問2 下線部⑥についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① 内閣が条約を締結する際には、必ず事前に国会の承認を経なければならない。
- ② 国会における法案の実質的審議は、委員会ではなく、本会議で行われている。
- ③ 衆議院で可決され参議院で否決された法案が、衆議院で出席議員の3分の2以上の多数で再び可決された場合、その法案は成立する。
- ④ 両議院の本会議は必ず公開しなければならない、非公開とすることはできない。

問3 下線部㉔に関連して、国会議員の特権や身分についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 19

- ① 国会議員は、その任期中、所属する議院の許諾がなければ逮捕されない。
- ② 国会議員は、院内での表決について院外で責任を問われることはない。
- ③ 国会議員が国庫から受け取る歳費は、減額することができない。
- ④ 国会議員の被選挙権は、衆議院議員・参議院議員ともに満25歳以上である。

問 4 下線部㉔に関連して、内閣の権限や内閣総理大臣および国務大臣についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① 内閣総理大臣は、衆議院の指名により衆議院議員の中から選ばれ、参議院がその指名にかかわることはできない。
- ② 内閣が衆議院を解散できるのは、衆議院が内閣不信任案を可決もしくは内閣信任案を否決した場合に限られる。
- ③ 国務大臣の罷免権は内閣総理大臣が有し、国会が国務大臣を罷免することはできない。
- ④ 内閣は、著しい非行や職務の怠慢があった裁判官に対して、懲戒処分を行うことができる。

問 5 下線部㉕に関連して、日本の裁判制度についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① 判決は、必ず公開の法廷で行われなければならない。
- ② 最高裁判所は、下級裁判所の審理を指揮監督することができる。
- ③ 行政機関は、終審としての裁判だけでなく、前審としての裁判も行うことができない。
- ④ 裁判所は、法令が憲法違反かどうかについて、具体的事件がなくても判断することができる。

政治・経済

問 6 下線部①に関連して、1999年に制定された国会審議活性化法により、国務大臣を補佐する役職として新たに設けられたものとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① 政務次官
- ② 事務次官
- ③ 審議官
- ④ 副大臣

問 7 下線部②に関連して、日本における国民の司法参加や司法制度改革についての記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① 検察官による不起訴処分の当否を審査する組織として、有権者の中から選ばれた審査員から構成される検察審査会がある。
- ② 一定の刑事事件においては、裁判所の許可の下に、被害者やその家族が法廷に出席して、自らの心情や量刑についての意見を述べることができる。
- ③ 刑法や刑事訴訟法が改正され、殺人罪など法定刑の上限が死刑である犯罪について、公訴時効が廃止された。
- ④ すべての裁判の第一審において、有権者の中から選ばれた裁判員が裁判に参加する裁判員制度が実施されている。

(下書き用紙)

政治・経済の試験問題は次に続く。

第4問 次の文章を読み、下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 19)

第二次世界大戦で大きな打撃を受けた日本経済は、政府の経済再建政策による基幹産業の復興や、朝鮮戦争によりもたらされた特需景気により、1950年代初めには鉱工業生産が戦前の水準に回復した。そして、1950年代半ば以降は驚異的な①高度経済成長を実現し、先進工業国の仲間入りを果たした。しかし、高度経済成長は、経済的豊かさをもたらしたものの、そのひずみとして②農業問題や③公害問題など、さまざまな課題を生んだ。

その後、1971年のニクソン・ショックと1973年の第一次石油ショックを契機として、日本の高度経済成長は終わりを告げた。石油ショックにより、日本は他の先進工業国と同様、深刻な経済的苦境に直面したが、他の先進工業国に先駆けて④産業構造の転換を図り、輸出を伸ばした結果、安定成長を実現することができた。しかし、1985年のプラザ合意後にとられた金融緩和政策などによってバブル経済が発生し、それが崩壊した1990年代初頭以降、日本経済は⑤長期にわたる不況に陥った。

2002年になって日本経済はようやくこの長期の不況から抜け出し、その後、⑥戦後最長の景気拡大が続いた。しかし、2008年に経済状況は後退局面に入り、とくに、同年に発生した世界的な金融危機は、日本経済にも大きな打撃を与えた。こうした状況の中で、日本は⑦デフレからの脱却と持続可能な経済成長の実現を求めて模索を続けている。

問 1 下線部㉔についての記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① 好景気が、いざなぎ景気、神武景気、岩戸景気、オリンピック景気の順に生じた。
- ② パソコンや携帯電話などが一般家庭に急速に普及した。
- ③ 民間企業の設備投資資金は、主に直接金融により賄われた。
- ④ 1ドル=360円の為替レートが輸出に有利に働いた。

問 2 下線部㉕に関連して、日本の農業をめぐる1990年代以降の動向についての記述として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① 食料の安定供給の確保、農業の多面的機能の発揮、農業の持続的発展、農村の振興の四つを基本的理念とする食料・農業・農村基本法が制定された。
- ② 農業生産者が加工や販売も手がける農業の6次産業化が進められている。
- ③ 農地法が改正され、株式会社が農地を借り受けることができなくなった。
- ④ 供給熱量自給率は40%前後で推移している。

問 3 下線部㉖に関連して、戦後の公害をめぐる訴訟や政府の公害・環境保全対策についての記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

26

- ① 新潟水俣病訴訟では、原告である被害者側が敗訴した。
- ② 大阪空港公害訴訟において、最高裁判所は航空機の夜間の離着陸に対する差止請求を認めた。
- ③ 汚染物質の排出規制として濃度規制が採用されているが、総量規制は導入されていない。
- ④ 環境基本法では、大気汚染、水質汚濁、土壤汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭の七つを公害と規定している。

政治・経済

問 4 下線部㉔に関連して、第一次石油ショック後の日本の産業構造の変化を述べたものとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① 軽工業から重化学工業への転換
- ② 資源・エネルギー多消費型産業から省資源・省エネルギー型産業への転換
- ③ 軽薄短小型産業から重厚長大型産業への転換
- ④ 労働集約型産業から資本集約型産業への転換

問 5 下線部㉕の不況期についての記述として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

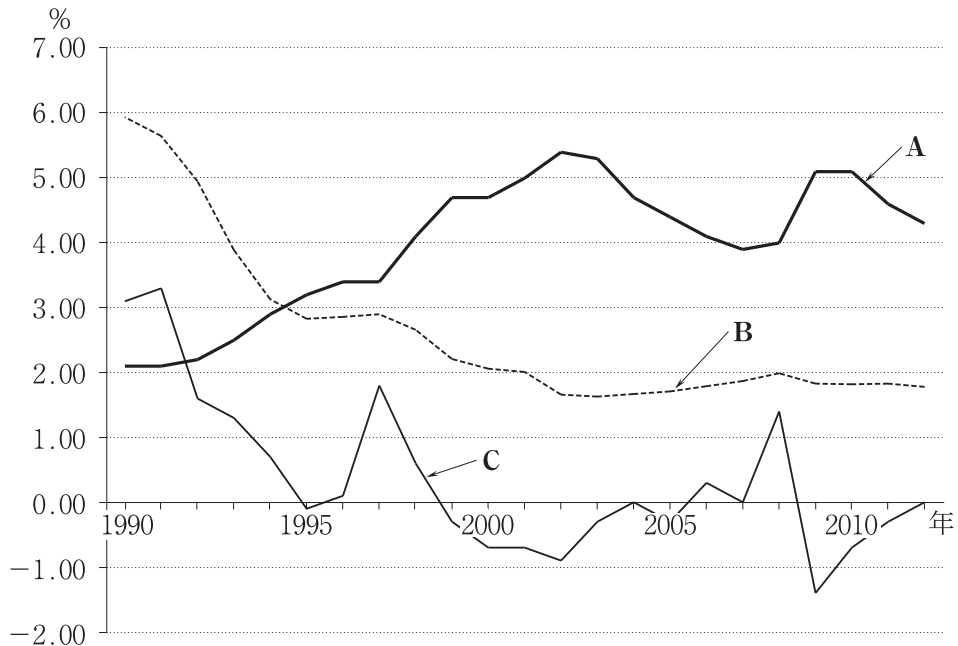
- ① 銀行が融資に慎重になったため、中小企業の資金調達が困難になった。
- ② 企業は、不採算部門からの撤退、人員削減などのリストラを進めた。
- ③ 第二次世界大戦後、初めてのマイナス成長を記録した。
- ④ 大量の不良債権を抱えた金融機関が経営破綻する例がみられた。

問 6 下線部㉖の景気拡大期にみられた日本経済の動向についての記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 一般会計の歳入が増加し、赤字国債の発行がゼロとなった。
- ② 消費税の税率の引下げに伴う家計消費の拡大が景気拡大を主導した。
- ③ 派遣労働者などの非正規労働者の失業や貧困が社会問題化した。
- ④ 高度経済成長期を上回る高い実質経済成長率を記録した。

問7 下線部⑧に関連して、次の図は、1990年代以降の日本の物価上昇率、完全失業率、賃上げ率の推移を示したものである。図中のA～Cの組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

30



(注) 賃上げ率は春闘における主要企業の賃上げ率(加重平均)で、厚生労働省調べ。物価上昇率は消費者物価の上昇率。

(資料) 内閣府『平成25年版 経済財政白書』により作成。

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| ① A — 物価上昇率 | B — 完全失業率 | C — 賃上げ率 |
| ② A — 物価上昇率 | B — 賃上げ率 | C — 完全失業率 |
| ③ A — 完全失業率 | B — 物価上昇率 | C — 賃上げ率 |
| ④ A — 完全失業率 | B — 賃上げ率 | C — 物価上昇率 |
| ⑤ A — 賃上げ率 | B — 物価上昇率 | C — 完全失業率 |
| ⑥ A — 賃上げ率 | B — 完全失業率 | C — 物価上昇率 |

第5問 次の文章を読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(配点 17)

日本国憲法は、国民主権の原理に立ち、この原理を具体化する仕組みとして、
㉑ 代表民主制を採用している。したがって、国家権力は、国民の意思に基づき、
その代表者によって行使されることになる。

しかし、たとえ国民の代表者であっても、国家権力を濫用し、㉒ 国民の権利を
侵害する危険性は常に存在する。また、国民の意思に沿って国家権力が行使された
としても、多数者の横暴によって少数者の自由や権利が侵害されるおそれもある。
そこで、日本国憲法は、基本的人権を保障するとともに、権力分立や法の支配の原
理を採用して、国家権力の濫用や多数者の横暴による権利の不当な侵害の防止を
図っている。

日本国憲法における国民の権利の保障は、㉓ 大日本帝国憲法と比べて、質的に
も量的にも格段に強化されている。たとえば、日本国憲法は、基本的人権を「侵す
ことのできない永久の権利」と捉えて、人権に対する制約を㉔ 公共の福祉による
制限に限定している。また、近代的人権である平等権や自由権については、法の下
の平等や思想・良心の自由などを新たに保障し、とくに㉕ 人身の自由については、
戦前の人権侵害の歴史を踏まえて詳細な規定を設けている。さらに、現代的人権で
ある㉖ 社会権も保障している。

このように、日本国憲法は、国民の権利を広範に保障するとともに、それらの実
効的な保障にも意を用いているのである。

問 1 下線部㊸を補完する制度として日本国憲法で採用されている直接民主主義的な制度についての記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

31

- ① 国民は、国民審査によって、最高裁判所および下級裁判所の裁判官を罷免することができる。
- ② 国民が有権者の一定割合の署名を集め、法律の制定や改廃を求めたときは、国会はその法律の制定・改廃について審議しなければならない。
- ③ 特定の地方公共団体にのみ適用される特別法を制定する場合には、その地方公共団体の住民投票において過半数の同意を得ることが必要である。
- ④ 憲法の改正を行う場合には、天皇が憲法改正を発議した後、国民投票において過半数の賛成を得ることが必要である。

問 2 下線部㊹に関連して、日本の最高裁判所が下した判断についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

32

- ① 法定相続分について法律上の婚姻関係にない父母の間に生まれた子を差別している民法の規定を、法の下での平等に違反するとして違憲と判断した。
- ② 教科書の内容を文部科学省が事前に審査する教科書検定制度を、検閲にあたるとして違憲と判断した。
- ③ 靖国神社などに公金で玉串料などを支出した愛媛県知事の行為を、政教分離の原則に違反しないとして合憲と判断した。
- ④ 選挙区間で定数配分に著しい不均衡がある公職選挙法の参議院議員定数配分規定を、法の下での平等に違反するとして違憲と判断した。

政治・経済

問3 下線部㉔に関連して、次のA～Cのうち、大日本帝国憲法の下では認められていなかったが、日本国憲法の下で新たに認められるようになったものはどれか。最も適当なものを、下の①～⑦のうちから一つ選べ。 33

- A 特別裁判所の設置
- B 両性の本質的平等
- C 住民による知事の直接選挙

- ① A ② B ③ C
- ④ AとB ⑤ AとC ⑥ BとC
- ⑦ AとBとC

問4 下線部㉕についての記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- ① 権利の行使が他人の権利を不当に侵害する場合、その権利は「公共の福祉」を理由として制限される。
- ② ドイツのワイマール憲法は、所有権が「公共の福祉」によって制限されることを定めていた。
- ③ どのような思想をもったとしても、それが内心にとどまる限り、「公共の福祉」により制限されることはない。
- ④ 職業選択の自由は、生活をしていく上できわめて重要な人権であるから、「公共の福祉」を理由として制限されることはない。

問 5 下線部㉔についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① 目撃証言や物的証拠がある場合でも、本人の自白がないときは、有罪とされることはない。
- ② すべての刑事事件において、被告人は、公平な裁判所の迅速な公開裁判を受ける権利を有する。
- ③ 有罪判決が確定した場合には、無罪を証明する明らかな証拠が新たに発見されても、有罪判決の取消しと事件の再審理を求めることはできない。
- ④ 刑事被告人に弁護人を依頼する権利が保障されていないため、弁護人が付かないまま裁判が行われることが多い。

問 6 下線部㉕についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 36

- ① 国が労働組合の組織や運営に関する法律を定めることは、労働者の団結権を侵害することになるので許されない。
- ② 公務員の不法行為により損害を受けた個人は、国家賠償請求権を行使して国や地方公共団体に損害賠償を求めることができる。
- ③ 最高裁判所は、朝日訴訟において、低すぎる生活保護基準が生存権に違反するとして違憲と判断した。
- ④ 教育を受ける権利は、国に対して教育の場や機会の提供を求めることができる権利である。

倫理，政治・経済

(解答番号 ~)

第1問 以下は，テロや内戦に関する報道を目にした大学生AとBの会話である。

この文章を読み，下の問い(問1～5)に答えよ。(配点 14)

A：新聞やテレビの報道は，連日のように世界各地のテロの横行や内戦の痛ましい状況を伝えているね。多くの尊い命が奪われている状況に心が痛むよ。

B：この状況をみんなどう思っているのかな？ 一向に改善されない状況に苛立ち^{いらだ}を覚える人もいれば，現地に行って苦しんでいる人を助けたい…，でも危険な目にはあいたくない…，と㉔ジレンマを感じている人もいるだろう。遠い国の出来事として責任を感じることもなく，半ば諦めて^{なか あきら}いる人もいるかもね。

A：でも，この難題に立ち向かい続けていくことは必要だよ。そもそもなぜ，こうした悲惨な状況に陥るのかな？

B：政治的・経済的な格差や不平等への㉕不満が原因だと思う。

A：なるほど。政治的・経済的「強者」は，既得権益を簡単には手放そうとしない。だから，政治的・経済的「弱者」が，暴力に訴えてでも格差・不平等の是正を実現するために行動する，という話はしばしば耳にするね。

B：非人道的な抑圧に対して，「弱者」が蜂起することもやむを得ないと思う。人々の自由・平等や㉖平和を守るためには，ある程度の実力行使も必要だよ。

A：でも，「弱者」と「強者」のうち，どちらかが暴力を用いれば，もう一方も暴力で応酬することになると思うよ。双方が㉗暴力では何も解決できないことを認識し，暴力の連鎖を断つことが重要だよ。

B：いや，「弱者」の実力行使は認めるべきだと思う。人はいったん「強者」になると，既存の秩序に反発する者を異質な他者とみなし排除しようとする傾向を示すからね。「強者」が不当な秩序の維持に固執するなら，実力で阻止すべきだよ。

A：人間にそうした傾向があることは否定できないけど，実力行使は避けたいね。

「強者」が「弱者」を対等の人間として尊重し、「強者」中心の社会ではなく、「弱者」の立場にも十分に配慮した㊦人間的な社会のあり方を探求する必要があると思うな。

問1 下線部㊦に関連して、友人関係などにおいて、相手に接近したい気持ちと、お互いが傷つくことへの恐れとが葛藤を起し、適切な距離関係を築くことが難しい状況を「ヤマアラシのジレンマ」と言う。その具体例として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 1

- ① Aさんは、いつも多くの友人に囲まれているが、今までに自分の本当の気持ちを理解してくれると思えるような友人に出会ったことはないと考え、今後も本当の意味での友人に出会えるかどうか不安を感じている。
- ② Bさんは、大人数で行動することを好まず、むしろ一人でいることが好きであることから、なるべく友人をつくらず、ごく親しい友人とだけ行動しようと日頃から心がけている。
- ③ Cさんは、周りの友人の考え方や行動に共感を覚え、親しみや仲間意識も感じて仲良くしているが、「負けたくない」というような強いライバル意識も同時にもっている。
- ④ Dさんは、心を打ち明けられる親しい友人を求めているが、親しくなるにつれて自分がいやな思いをしたり相手にいやな思いをさせたりしてしまうのではないかと考え、どのように付き合っていけばよいかわからないでいる。

倫理，政治・経済

問2 下線部⑥に関連して，人間が欲求不満に直面したとき，心のなかで無意識のうちに自我の安定を取り戻そうとするメカニズム，いわゆる防衛機制(防衛反応)が働くことがある。防衛機制の具体例ア～エと，その説明A～Dとの組合せとして正しいものを，下の①～⑧のうちから一つ選べ。 2

ア 昇 華

イ 合理化

ウ 同一視

エ 退 行

A 他人がもつ長所・特性を自分のものとして取り入れ，それを自分もっているかのように思い込む。

B 幼児化するなど，現在の自分よりも幼い頃の発達段階に逆戻りする。

C 自分の失敗や欠点に，もっともらしい理屈をつけて自分を正当化する。

D 満たされない欲求を社会的に価値の高い目標に置き換える。

① アーA イーB ウーC エーD

② アーA イーC ウーB エーD

③ アーB イーD ウーA エーC

④ アーB イーA ウーD エーC

⑤ アーC イーB ウーD エーA

⑥ アーC イーD ウーB エーA

⑦ アーD イーC ウーA エーB

⑧ アーD イーA ウーC エーB

問3 下線部㉔に関連して，平和の実現を目指してなされた主張として適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 3

- ① ヴァイツゼッカーは，「過去に目を閉ざす者は，結局のところ現在にも目を閉ざすことになる」と述べ，過去の非人間的な行為を心に刻もうとしない者は，またそうした行為に陥りやすいと説いた。
- ② 世界人権宣言は，人類社会のすべての構成員の固有の尊厳および平等な権利を認めていくことが，世界における自由・正義・平和の基礎をなすものであると謳^{うた}っている。
- ③ ユネスコ憲章は，「戦争は人の心のなかで生まれるものであるから，人の心のなかに平和のとりでを築かなければならない」と謳うとともに，相互の風習と生活を知らないことが，戦争が起きる一因であるとしている。
- ④ カントは，永遠平和を実現するためには，国際平和機構に頼らず，敵対関係にある国家あるいは国家群がそれぞれ常備軍を強化し，お互いに相手を攻撃できない状況をつくる必要があると説いた。

問4 下線部④に関連して、非暴力主義を唱えたガンディーは、インド人の抵抗運動を「パッシヴ・レジスタンス受動的抵抗」と表現することに限界を感じ、新たに「サットィヤーグラハ」という名称を用いるようになったと語っている。その受動的抵抗とサットィヤーグラハの相違について述べた次の文章を踏まえて、彼の主張の説明として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 4

受動的抵抗には愛情の余地はありませんが、サットィヤーグラハでは憎悪の余地はありません。……受動的抵抗はしばしば武力行使の準備段階とされますが、サットィヤーグラハはこのようにはけっして用いられません。受動的抵抗と武力行使は両立可能です。サットィヤーグラハは武力とまったく相反するものですから、両者はけっして一致しません。……受動的抵抗では、敵対者に苦痛を与え、困らせようという考えがいつもあるのです。そして苦痛を与えつつ、自身被^{こうむ}らなければならない苦痛に耐える準備をすることになっています。それに反して、サットィヤーグラハでは、対抗者に苦痛を与えようとする考えすらあってはなりません。苦難に自らじっと耐え忍んで対抗者を征服する考えがなければなりません。

(『南アフリカでのサットィヤーグラハの歴史』より)

- ① 受動的抵抗では敵対者に苦痛を与えることが禁止されるが、サットィヤーグラハでは武力を用いない限り、敵対者に苦痛を与えることが認められる。
- ② サットィヤーグラハの運動家・信奉者は、無限の忍耐力をもち、愛と思いやりによって、迫害者の心や考え方を变えるよう努めなければならない。
- ③ 受動的抵抗とサットィヤーグラハは、ともに純粋で素朴な魂の力を土台とする運動であり、憎しみが入り込む余地はない。
- ④ サットィヤーグラハでは基本的に武力を使うことが禁止されるが、迫害に相応する報復を行い、迫害者に苦痛を与えようとする考えることは認められる。

- 問5 下線部㉔に関連して，次の文章は理想の社会の建設を求めた人物の説明である。

 ～

 に入れる語句の組合せとして正しいものを，下の①～⑨のうちから一つ選べ。

ロシアの文豪トルストイは，「汝の敵を愛せ^{なんじ}」というキリストの教えの実践を説き，非暴力主義と反戦を唱えたことで知られる。彼はまた，争いのない相互扶助的な農村共同体を理想として掲げた。このトルストイから大きな影響を受けた人物に，

 の同人である武者小路実篤がいる。彼は，

 を自由に伸長させ，善意を生かすことによって，人類の文化の発展に寄与すべきであると考え，そうした生き方を実践する共同体として「新しき村」を建設した。他方，

 を結成した幸徳秋水は，トルストイの説くキリスト教信仰に基づく非暴力主義を，弱者にとっては残忍な思想であると批判し，悲惨な戦争をなくすためには，資本主義を基礎とする社会に代えて，社会主義に基づく社会を確立する必要があると訴えた。

- | | | | | | | |
|---|---|-----|---|--------|---|-----|
| ① | a | 青鞥社 | b | 民族の独自性 | c | 白樺派 |
| ② | a | 青鞥社 | b | 民族の独自性 | c | 平民社 |
| ③ | a | 青鞥社 | b | 各人の個性 | c | 平民社 |
| ④ | a | 白樺派 | b | 民族の独自性 | c | 青鞥社 |
| ⑤ | a | 白樺派 | b | 各人の個性 | c | 青鞥社 |
| ⑥ | a | 白樺派 | b | 各人の個性 | c | 平民社 |
| ⑦ | a | 平民社 | b | 民族の独自性 | c | 白樺派 |
| ⑧ | a | 平民社 | b | 各人の個性 | c | 白樺派 |
| ⑨ | a | 平民社 | b | 民族の独自性 | c | 青鞥社 |

第2問 次の文章を読み，下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 18)

多くの現代人は，仏教の説くように，悪いことをすれば死んで地獄に行くなどとは思わない。しかし，日本文学の特異ジャンルである私小説の多くが心の闇，すなわち地獄を描くように，地獄は今なお，私たちの心をとらえて放さない。

大乘仏教において，地獄の思想を発展させたのは，六つの迷いの世界を深く観想すべきことを説いた中国の天台智顗である。しかし，日本の仏教は，伝来当時から奈良時代までは，宇宙の神秘を解き明かす①華嚴經などの研究が中心であった。記紀神話が説く黄泉とは異なる地獄の思想が日本人の思惟に大きな影を落とすことになったのは，最澄によって天台宗が日本に本格的に移入され，日本の神々をも自らの思想体系に取り込み体系化してからである。

平安時代の『源氏物語』や『新古今集』にも，その影を見いだすことができる。江戸の国学者は，それらに古代日本の精神が表現されているとしたが，観音霊場の石山寺で『源氏物語』の着想を得た紫式部は仏教の篤い信仰者であり，『新古今集』の撰者の一人である藤原定家は②天台宗の仏道修行の一つを説いた『摩訶止観』の熱心な読者であった。国学者は，③外来思想であることを理由に，日本人の精神形成に大きな影響を与えた仏教を排斥したが，それは必ずしも適切なことではなかった。

ところで，仏教が伝える地獄の思想を日本人の心に深く刻み込んだのは，平安末期の天台僧の④源信による『往生要集』である。その大きな影響を受けた法然や親鸞には，現世を地獄と同一視する傾向が見られる。彼らは，天台宗のように六道や十界の観想によって救済を得るのではなく，己が地獄を生きる凡夫であるという自覚から，西方浄土を念ずることによって極楽往生しようとした。

この浄土思想とともに，地獄の思想は庶民へも広まった。今日でも，多くの信者を抱える浄土教系寺院で地獄絵を見かける。仏教思想を理解できない庶民の教化のために描かれたものである。彼らも地獄絵を見て，地獄を知り，怯え，そして道徳的に振る舞おうとした。しかし同時に，それは⑤人生の苦と不浄，⑥己の罪深さ，まさに地獄を生きる己の魂をも現実味をもって見つめさせたのである。

このように見てくると，仏教が教えた地獄なるものは，多くの日本人に，ただ死後の世界の恐怖を植えつけただけでは終わらなかった。むしろ，A。

問 1 下線部㉔に関して，教学研究をめぐる奈良仏教のあり方の説明として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 6

- ① 華嚴宗や法相宗などの南都六宗が，国家への奉仕を求める政治権力を嫌って，世俗を離れ教学研究を行う山岳仏教として栄えた。
- ② 官僧は朝廷から保護と同時に制約も受けたが，教学研究を深めるために，他宗を学んだり他寺へ行って学んだりすることができた。
- ③ すべての宗派が，修行すれば誰でも仏に成れるという大乘仏教の根本教理を共有し，身分や性別に基づく差別的な成仏観を否定した。
- ④ 授戒制度が確立していなかったため，官許のない私度僧集団でも，いかなる制約も受けずに民衆への布教活動や教学研究ができた。

問 2 下線部㉕に関連して，仏道修行一般に対する最澄の考え方の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 7

- ① 生きとし生けるものはすべて生まれながらに仏に成れる可能性を具えているのだから，ことさらに戒律を守って仏道を修する必要はなく，生まれながらに悟っているということを実感するだけでよい。
- ② 末法の世において人はもはや仏道修行ができないから，法華經の教えを聞いて常住不滅の仏が教導・救護していることを思い，ひたすら「南無妙法蓮華經」と題目を唱え，心に大きな喜びを感じればよい。
- ③ 人に仏性があっても，仏道修行を行わないとそれは発現しないのだから，仏の真実の教えである密教の修行である三密の行を修して，その身のままで成仏し，菩薩行に徹しなければならない。
- ④ 人は誰でも仏性を具えているのだから，仏教の真理を広めて世の中の一隅を照らす人となれるように，仏教を求める心をもった国宝として，自己を省みず利他を尽くす仏道修行に邁進しなければならない。

倫理，政治・経済

問 3 下線部㉔に関連して，外来思想の一つに儒学がある。その代表的な思想家である孔子の教えについての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① 国を治めようと思うならば，道徳に拠らず，賞罰のけじめを厳正かつ確実に行うことに徹すればよい。
- ② 人が人として身につけるべき基本的な徳である仁は，孝や悌といった家族の愛を土台にして育つ。
- ③ 君子は，人民のことを第一に考え，特に仁と義といった徳に基づいて霸道政治を目指すべきである。
- ④ 社会の混乱を招かないためには，親疎の区別なく他者を愛する精神を人の心に植え付ける必要がある。

問 4 下線部㉕に関連して，『往生要集』の冒頭の章名に由来し，当時の世情の不安を救う教えとして人々の心のなかにしみ込んでいった源信の思想を示す言葉として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 9

- ① 愛別離苦，怨憎会苦
- ② 世間虚仮，唯仏是真
- ③ 厭離穢土，欣求浄土
- ④ 不立文字，以心伝心

問5 下線部㊸に関して，次のア～ウは，ブツダの教えの記述である。その正誤の組合せとして正しいものを，下の①～⑧のうちから一つ選べ。 10

ア ブツダによれば，人生が苦しみに満ちているのは，人が六波羅蜜などの煩悩に囚われているからである。

イ ブツダによれば，死は人生における苦しみではなく，この世のあらゆる束縛からの解放を意味する。

ウ ブツダが説いた慈悲とは，生きとし生けるものすべてから苦しみを取り除き，楽を与えることである。

- | | | | |
|---|-----|-----|-----|
| ① | ア 正 | イ 正 | ウ 正 |
| ② | ア 正 | イ 正 | ウ 誤 |
| ③ | ア 正 | イ 誤 | ウ 正 |
| ④ | ア 正 | イ 誤 | ウ 誤 |
| ⑤ | ア 誤 | イ 正 | ウ 正 |
| ⑥ | ア 誤 | イ 正 | ウ 誤 |
| ⑦ | ア 誤 | イ 誤 | ウ 正 |
| ⑧ | ア 誤 | イ 誤 | ウ 誤 |

- 問6 下線部①に関連して、民芸運動を起こした柳宗悦が、地獄や極楽について論じた次の文章を読み、「理知的な人々」に対する彼の批判について説明した文章として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 11

ここで極楽と地獄との問題に触れておこう。理知的な人々は……「どこにそんな世界が客観として容認されるのか、宗教的妄想が醸し出した迷信に過ぎない」。そうにべもなくいうであろう。しかし地獄極楽の存在は、罪に泣く者にも、切に知られているのである。それらの二界が存在しないというのは、罪への反省を失った者の非難に過ぎない。それがあつかないかは、^{ひと}偏^{ひと}えに罪の意識にかかる。なぜなら罪に在ることが地獄に在ることである。罪のその場所が地獄なのであり、^{ならく}奈落*なのである。地獄を否むということは、罪の自覚を持たない者の傲慢なまたは愚鈍な見方に過ぎない。罪への想いが身を襲うことと地獄が身に迫ることは同時なのである。だが不思議である。罪に泣かずして、どうして救いを求め得よう。……地獄があれば、必定極楽はあるのである。

(『南無阿弥陀仏』より)

*奈落：地獄のこと

- ① 理知的な人々の「極楽と地獄などありはしない」という批判は、的外れである。なぜなら、地獄や極楽の実在は、罪や救いといった宗教的課題とは無関係だからである。
- ② 理知的な人々の「極楽と地獄などありはしない」という批判は、的外れである。なぜなら、罪の意識の有無に関係なく、地獄や極楽は客観的に実在するからである。
- ③ 理知的な人々の「極楽と地獄などありはしない」という批判は、的外れである。なぜなら、地獄や極楽とは、意識の対象とはならない死後の世界だからである。
- ④ 理知的な人々の「極楽と地獄などありはしない」という批判は、的外れである。なぜなら、そもそも罪の自覚があるからこそ地獄を意識することができるからである。

問7 本文の趣旨を踏まえて、Aに入れる記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。12

- ① 日本人は、仏教が伝来するまで死者の魂がどこに行くのか全く考えようとしなかったが、地獄を知ったことで、死者が行く世界を明確に意識するようになった。その結果、日本人は絶望の淵へと突き落とされ、恐怖を募らせたのである
- ② 地獄という観念は、日本人に、振り返って自らの現実の生を見つめ直す自己反省をも促したのである。さらには、自らの無力や現実の生のニヒリズムにも耐える気力のみならず、人生の闇をも直視する勇気を呼び起こしたのである
- ③ 人は死後、誰もが最後の審判を受けなければならないことを知り、日本人はますます死後の世界から目をそらして考えないようになった。その結果、地獄という観念は、日本人から自らの生を考える哲学的な思索の営みを奪ったのである
- ④ 死後に地獄に行こうとも、現世を浮き世とみなしていた日本人は、ますます神仏などの超越者には頼らず生きていくようになった。すなわち、地獄という観念は、日本人に現実の生を力強く生きていく自力救済の意志を植えつけたのである

第3問 次の文章を読み、下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 18)

「方法」という言葉は、近代の初めには新鮮な響きをもっていたと言われる。ここでは、西洋の近代哲学が確実な真理を探究するための「方法」への関心の高まりとともに誕生したことの意味を、デカルトに焦点を当てながら考えてみたい。

中世以来の①普遍的世界像が大きく揺らいだ時代に、デカルトは知的自叙伝とも言える『方法序説』を著し、理性を正しく導く方法について論じた。そのなかで彼は、書物から得た知識を疑い、「世界という大きな書物」に学ぼうと旅立った若き日々を回想している。彼が旅から学んだのは、人々の考えに見られる多様性と、共通の知的基盤の欠如であった。この挿話は、封建勢力と新興勢力の争いを背景に②キリスト教の新旧両派が激突し、国内的にも国際的にも紛争が絶えなかった当時のヨーロッパ社会の混沌とした状況を反映している。

デカルトはまた、人々の考えの多様性や才気の有無などにかかわらず、理性が万人に等しく備わっているという確信を旅から得た。この確信こそ、誰もが同意できる原理に基づいて③学問を刷新する方法の探求へと彼を駆り立てた原動力であった。こうして、確実な知識の基礎を求めて徹底的な懐疑を断行したデカルトは、「考える私」の存在という明らかな真理に辿り着き、これを基点に新たな学問の地平を開拓しようとした。このような試みには、自らの自由意志の命じるままに人生を切り拓^{ひら}こうとする④ルネサンス的な人間像が投影されていると言えよう。

すでに自然学や数学の研究でも成果をあげていたデカルトは、自らの方法が、単なる説明の方法にすぎない⑤スコラ哲学の論理と違い、⑥理性に基づく新たな真理の発見を通じて人間を自然界の主人にするための画期的なものであることに自信をもった。「方法」へのデカルトの関心は、人間による自然の解明・支配という目的と不可分であった。しかし、彼が主張した心身二元論は、同時代人の厳しい批判にさらされた。デカルト以後の近代哲学は、彼の「方法」に対する関心を継承しながらも、その理論的前提への批判という形で多彩な展開を見せることになった。

デカルトの方法が目指した科学技術の発展は、人類に多くの恩恵をもたらした反面、環境破壊などの危機を招くことにもなった。近代的理性への反省が迫られている現代は、理性を正しく導く方法が改めて問い直されるべき時代なのだと言えよう。

問1 下線部②に関連して、次の文章は、旧来の世界像が動揺し、人々が疫病や戦争の恐怖にさらされていた16～17世紀のフランスで、人間の生き方や尊厳について思索したモリストについて説明したものである。[a] ～ [c] に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

13

ペストの流行や凄惨なユグノー戦争を体験したモンテーニュは、人々の精神的怠惰から生じる独断，偏見，不寛容こそ人間から尊厳を奪う元凶であるとした。そして、「[a]」という言葉をもットー(信条)に掲げた彼は、自己省察を繰り返すことで、豊かさに満ちた各人各様の人生の意義を謙虚に認めるべきだと主張した。また、人間の[b]を「考える葦」という言葉で表したパスカルは、人間には、物事を合理的に捉える幾何学的精神だけでなく、不安定で矛盾に満ちた人生の深い意味を直感する[c]が必要だと説いた。

- | | | | |
|---|-----------|---------|---------|
| ① | a 知は力なり | b 理性と感情 | c 繊細の精神 |
| ② | a 私は何を知るか | b 偉大と悲惨 | c 高邁の精神 |
| ③ | a 知は力なり | b 偉大と悲惨 | c 繊細の精神 |
| ④ | a 私は何を知るか | b 理性と感情 | c 高邁の精神 |
| ⑤ | a 知は力なり | b 理性と感情 | c 高邁の精神 |
| ⑥ | a 私は何を知るか | b 偉大と悲惨 | c 繊細の精神 |

倫理，政治・経済

問2 下線部⑤に関連して，当時のカトリック教会を批判して宗教改革の先頭に立ったルターについての説明として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

14

- ① 人間が神によって義(正しい)とされるのはただ信仰のみによるのであり，教会が奨励する善行や儀式によるのではないと説いた。
- ② 教会による贖宥^{しよくゆう}状の販売を批判し，信仰の拠りどころは神の言葉が記された『聖書』のみであると主張した。
- ③ 聖職者は特別な存在ではなく，各人が自らの責任において信仰に徹するとき，すべての人は等しく司祭となると説いた。
- ④ 職業の世襲制に反対し，職業選択は神の意志とは関わりなく各人の自由意志のみに基づいて行われるべきであると主張した。

問3 下線部㉔に関連して、イギリスの哲学者ベーコンは、デカルトにやや先立ってスコラ哲学が空虚な議論に陥っていることを批判し、学問の革新を唱えた。ベーコンが学問的知識の伝達について述べた次の文章の説明として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 15

ひとは自分の知識と信念の基礎にまでたちかえり降りていって、それが自分の精神のなかで成長したとおりに、他人の精神のなかに移植することができるものである。というのは、知識も植物の場合と同じだからである。すなわち、利用しようと思うなら、根は問題ではないが、しかし移植して成長させようと思うなら、さし木によりも根にたよるほうが確実なのである。同じように、知識の伝達も(現在行なわれているところでは)根のない木の美しい幹の運搬のようなものであって、大工にはそれでもよいが、植木師には向かない。しかし、諸学を成長させようとする場合には、根を掘りおこすのによく注意すれば、木の茎や幹はたいして問題ではない。

(『学問の進歩』より)

- ① 学問を発展させるためには、学問の成果である知識をいかに利用するかが最も重要であるから、どの知識が何に役立つのかを明らかにして伝達することが大切である。
- ② 学問を発展させるためには、どの職業の人にも等しく役立つように、学問の成果としての個々の知識ではなく、学問の精神である向学心を伝達することが大切である。
- ③ 学問を発展させるためには、単に知識を伝達するだけではなく、知識が獲得された過程をその基礎にまでさかのぼって確かめ、その過程を伝達することが大切である。
- ④ 学問を発展させるためには、植物の移植が根よりも幹や茎を大事にしながら行われるのと同じように、実際の役に立つ個々の知識に限って伝達することが大切である。

倫理，政治・経済

- 問 4 下線部④に関連して，次のア～ウはルネサンス期の思想家についての説明であるが，それぞれ誰についての説明か。その組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

16

ア 大事業をなしとげる理想の君主は，公明正大で信義にあつい君主ではなく，キツネのずる賢さとライオンの強さとを兼ね具えた，人々に恐れられる君主であると説いた。

イ 地上のすべてのものは定められた法則にしばられているが，人間だけは，自らの自由な意志によって，自分の欲するものになるように神によって定められていると説いた。

ウ 『ユートピア』と題する著作のなかで，私有財産制がなく理性と正義が尊重される理想国の姿を描くことによって，貧困と不寛容が蔓延する現実の社会を風刺した。

- | | |
|-----------------|---------------|
| ① ア トマス・モア | イ マキアヴェリ |
| ウ ピコ・デラ・ミランドラ | |
| ② ア トマス・モア | イ ピコ・デラ・ミランドラ |
| ウ マキアヴェリ | |
| ③ ア マキアヴェリ | イ トマス・モア |
| ウ ピコ・デラ・ミランドラ | |
| ④ ア マキアヴェリ | イ ピコ・デラ・ミランドラ |
| ウ トマス・モア | |
| ⑤ ア ピコ・デラ・ミランドラ | イ トマス・モア |
| ウ マキアヴェリ | |
| ⑥ ア ピコ・デラ・ミランドラ | イ マキアヴェリ |
| ウ トマス・モア | |

問5 下線部㉔に関連して、スコラ哲学の大成者といわれるトマス＝アキナスについて述べた次の文章を読み、a・bに入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。17

トマス＝アキナスは、その著作『a』において、理性に基づく真理の探究は神が創造した自然の秩序の探求にほかならないとし、信仰の優位を前提として、理性と信仰との調和を図ろうとした。また彼は、世界は神の永遠の法によって支配されており、その法を人間が理性によって捉えたものがbであるとして、これを人間社会の根本規範であると主張した。

- ① a 神学大全 b 律法
- ② a 神学大全 b 自然法
- ③ a 神の国 b 律法
- ④ a 神の国 b 自然法

問6 下線部㉕に関連して、理性や真理に関するプロタゴラスの思想についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。18

- ① すべての人間が従うべき普遍的な真理は存在せず、ものごとの真偽は個々の人間の感じ方や考え方によって決まると主張した。
- ② 人間にとって最高の幸福は、最高の徳である知恵に基づいて、真理の認識そのものを楽しむ生活にあると主張した。
- ③ 人間の魂を理性・気概・欲望の三つの部分に分け、理性が気概と欲望を統御することによって、魂全体の秩序と調和が実現するとした。
- ④ 人間は自然の理性を種子として宿しており、これによって自己の欲望を抑制することで理想の生き方ができると説いた。

問7 本文の内容に合致する記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

19

- ① 「方法」に対するデカルトの関心は，理性が万人に平等に分配されているという前提に支えられていた。しかし，デカルト以後の近代哲学は，その前提を根本から覆し，「方法」に対する関心が継承されないままに発展したため，科学技術の暴走を制御する方法を確立できなかった。
- ② 「方法」に対するデカルトの関心は，スコラ哲学に代表される旧来の学問への不信に基づいていた。しかし，デカルトが確実な学問を築くために示した方法は，すでに知られている知識を説明するための方法にすぎなかったため，新たな発見を次々ともたらす近代科学の方法の前では無力であった。
- ③ 「方法」に対するデカルトの関心は，自由意志に従って人生を切り拓こうとするルネサンス的人間像への抵抗から生まれた。しかし，自由意志の主体としての個人よりも人類全体の利益の実現を優先して構想されたデカルトの哲学は，その後の科学技術の暴走という事態を招く遠因ともなった。
- ④ 「方法」に対するデカルトの関心は，自然の解明を通じて人間による自然の支配を達成するという目標と不可分であった。しかし，近代以降の科学技術の進展が，デカルトの目標を超えて環境破壊の危機にもつながることが明らかとなった今，理性を正しく導く方法の再検討が求められている。

(下書き用紙)

倫理，政治・経済の試験問題は次に続く。

第4問 次の文章を読んで、下の問い(問1～6)に答えよ。(配点 14)

16～18世紀のヨーロッパでは、国王が絶対的な権力を行使する統治形態、すなわち絶対王政が成立していた。その下では、人々の権利と自由は大きく制約されていた。この絶対王政は、その後の㉑市民革命によって打倒され、その過程でアメリカ独立宣言、フランス人権宣言など重要な歴史的文書が成立することになる。

しかし、これらの文書は、自由権を中心とするものであったため、19世紀に入って㉒資本主義が本格的に発展し、失業や貧困が激化するようになると、その限界が顕わになる。経済的自由権の保障が、経済的な強者に有利に働き、その結果、経済的な強者と弱者の間の格差を拡大させたのである。その意味で、1919年に制定されたワイマール憲法は、人権保障の発展の歴史の中で重要な意義をもっている。なぜならば、この憲法は、「人間たるに値する生存」を保障するのに必要な生存権などを、歴史上初めて明文で規定したからである。これ以降、とくに第二次世界大戦後には、各国で憲法に自由権のみならず㉓社会権を規定するという動きが広まった。日本国憲法もまた、こうした人権保障の歴史を継承し、㉔様々な国民の権利を保障している。

このように、市民革命によって近代的な社会や㉕国家が成立して以降、人権保障の歴史は着実な歩みを示してきたといえる。しかし、現代においても、人権保障をめぐる課題は多々存在する。例えば、現代では、公的な権力を有する国家が私的な領域へ介入する傾向が強だけでなく、巨大な企業などの私的団体が㉖国民生活に大きな影響を与えるようになってきており、国家のみならず私的団体との関係における人権問題が大きな課題となってきた。こうした状況の下で人権保障を確実なものにするためには、個々の国民が従来にも増して人権保障に向けた不断の努力を行うことが求められるだろう。

問 1 下線部②に関連して，市民革命に大きな影響を与えた思想家 A ～ C と，その主張内容 ア ～ ウ との組合せとして正しいものを，下の ① ～ ⑥ のうちから一つ選べ。

20

A ホッブズ

B ロック

C ルソー

ア 私有財産制の成立により失われた自由と平等を回復するには，社会契約を結び，人民を主権者とする政治共同体を形成しなければならない。

イ 政府が国民の生命・自由・財産に対する権利を侵害した場合，国民は政府に抵抗しそれを変更する権利をもつ。

ウ 自然状態は万人の万人に対する闘争の状態にあるので，絶対的権力をもつ国家を形成し，平和を確立する必要がある。

① A — ア B — イ C — ウ

② A — ア B — ウ C — イ

③ A — イ B — ア C — ウ

④ A — イ B — ウ C — ア

⑤ A — ウ B — ア C — イ

⑥ A — ウ B — イ C — ア

倫理，政治・経済

問2 下線部⑥に関連して，市場機構を重視する代表的な経済学者であるアダム・スミスの主張として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

21

- ① 経済発展を実現するためには，政府による保護貿易政策が必要である。
- ② 人々の自由な経済活動が，結果として社会全体の富を増加させる。
- ③ 技術革新による「創造的破壊」が経済発展の原動力である。
- ④ 「見えざる手」である政府の調整作用が経済活動の調和をもたらす。

問3 下線部③に関連して，日本における社会権に関する記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

22

- ① 国が労働組合の組織や運営に関する法律を定めることは，労働者の団結権を侵害することになるので許されない。
- ② 公務員の不法行為により損害を受けた個人は，国家賠償請求権を行使して国や地方公共団体に損害賠償を求めることができる。
- ③ 最高裁判所は，朝日訴訟において，低すぎる生活保護基準が生存権に違反するとして違憲と判断した。
- ④ 教育を受ける権利は，国に対して教育の場や機会の提供を求めることができる権利である。

問 4 下線部㉔に関連して，日本の最高裁判所が下した判断についての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① 法定相続分について法律上の婚姻関係にない父母の間に生まれた子を差別している民法の規定を，法の下での平等に違反するとして違憲と判断した。
- ② 教科書の内容を文部科学省が事前に審査する制度を，検閲にあたるとして違憲と判断した。
- ③ 靖国神社などに公金で玉串料などを支出した愛媛県知事の行為を，政教分離の原則に違反しないとして合憲と判断した。
- ④ 選挙区間で定数配分に著しい不均衡がある公職選挙法の参議院議員定数配分規定を，法の下での平等に違反するとして違憲と判断した。

問 5 下線部㉕に関連して，主権国家を基本的な構成単位とする国際社会についての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① 排他的経済水域には沿岸国の支配権が及ぶため，この水域を外国の船舶が自由に航行することはできない。
- ② 現代では，国際関係の緊密化に伴って，多数国間条約を締結したり国際慣習法を成文化する動きが盛んになっている。
- ③ 国家間の紛争や個人・企業など私人間の国際紛争を平和的に解決するため，国際司法裁判所が設けられている。
- ④ 国際連合は，国際社会の平和と安全を維持するため，集団的自衛権に基づいて国連軍を組織し，武力制裁(軍事的強制措置)を行うことができる。

倫理，政治・経済

- 問 6 下線部①に関連して，次の表は，日本における従業上の地位別就業者数の推移を示したものである。表中のA～Dに当てはまる項目名の組合せとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 25

(単位：千人)

	A			B		
	C	D	家族 従業者	C	D	家族 従業者
1950年	1,738	3,661	8,533	7,709	10,498	3,862
1970年	2,882	10,962	6,763	7,366	22,802	1,813
1990年	2,125	18,418	3,890	6,180	30,189	874
2010年	1,287	21,508	1,833	4,291	27,959	489

(資料) 矢野恒太記念会編『数字で見る日本の100年(改訂第6版)』により作成。

- ① A — 男性 B — 女性 C — 雇用者 D — 自営業者
 ② A — 男性 B — 女性 C — 自営業者 D — 雇用者
 ③ A — 女性 B — 男性 C — 雇用者 D — 自営業者
 ④ A — 女性 B — 男性 C — 自営業者 D — 雇用者

(下書き用紙)

倫理，政治・経済の試験問題は次に続く。

第5問 次の文章を読み，下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 18)

社会の秩序を維持するためには，法が不可欠である。ここでは，㉑統治機構が法の成立やその運用のために果たしている役割について，日本を例にみていこう。

衆議院と参議院という二つの議院からなる㉒国会は，日本国憲法第41条で「国の唯一の立法機関」と位置づけられ，㉓国民の選挙で選ばれた議員により法が制定される。

こうして制定された法を執行し，その理念を実現させるのは，行政機関である㉔内閣の役割である。内閣総理大臣を首長とする内閣の下に各種の省庁が設置され，それらが法に基づきさまざまな行政サービスを国民に提供している。また，行政自体が法により拘束され，行政による不法行為や人権侵害の抑止が図られている。

さらに，法による秩序が確保されるためには，司法機関である㉕裁判所がその役割を十分に果たすことが不可欠である。裁判所は，法を犯した者の処罰や法による紛争の解決を行い，憲法に違反する国家権力の不当な行使を防ぐため，違憲審査権をもっている。

適切な法が制定され，それが本来の目的に即して運用されるには，㉖統治機構が適正に機能することが重要であるが，そのためには，国民が統治機構の運営に主体的にかかわっていくことが大切である。国民が，選挙を通じて自らの意思を明確に示し，また，行政機関の活動に絶えず監視の目を向けなければ，法の適切な形成や運用を期することはできない。近年進められてきた㉗国民の司法参加への取り組みは，国民の統治機構に対するそうした主体的な関与に途を開く一つの試みといえるだろう。

問 1 下線部②に関連して，各国の議会についての次の説明 A ～ C と，国名 ア ～ ウとの組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 26

A 一院制であり，広範な権限をもつ国家権力の最高機関である。

B 民選の議院と非民選の議院により構成され，民選の議院の優越が認められている。

C とともに民選の二つの議院から構成される。

ア 中 国

イ アメリカ

ウ イギリス

① A — ア B — イ C — ウ

② A — ア B — ウ C — イ

③ A — イ B — ア C — ウ

④ A — イ B — ウ C — ア

⑤ A — ウ B — ア C — イ

⑥ A — ウ B — イ C — ア

倫理，政治・経済

問2 下線部⑥についての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① 内閣が条約を締結する際には，必ず事前に国会の承認を経なければならない。
- ② 国会における法案の実質的審議は，委員会ではなく，本会議で行われている。
- ③ 衆議院で可決され参議院で否決された法案が，衆議院で出席議員の3分の2以上の多数で再び可決された場合，その法案は成立する。
- ④ 両議院の本会議は必ず公開しなければならない，非公開とすることはできない。

問3 下線部㉔に関連して，国会議員の特権や身分についての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① 国会議員は，その任期中，所属する議院の許諾がなければ逮捕されない。
- ② 国会議員は，院内での表決について院外で責任を問われることはない。
- ③ 国会議員が国庫から受け取る歳費は，減額することができない。
- ④ 国会議員の被選挙権は，衆議院議員・参議院議員ともに満25歳以上である。

問 4 下線部㉔に関連して，内閣の権限や内閣総理大臣および国務大臣についての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 内閣総理大臣は，衆議院の指名により衆議院議員の中から選ばれ，参議院がその指名にかかわることはできない。
- ② 内閣が衆議院を解散できるのは，衆議院が内閣不信任案を可決もしくは内閣信任案を否決した場合に限られる。
- ③ 国務大臣の罷免権は内閣総理大臣が有し，国会が国務大臣を罷免することはできない。
- ④ 内閣は，著しい非行や職務の怠慢があった裁判官に対して，懲戒処分を行うことができる。

問 5 下線部㉕に関連して，日本の裁判制度についての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 判決は，必ず公開の法廷で行われなければならない。
- ② 最高裁判所は，下級裁判所の審理を指揮監督することができる。
- ③ 行政機関は，終審としての裁判だけでなく，前審としての裁判も行うことができない。
- ④ 裁判所は，法令が憲法違反かどうかについて，具体的事件がなくても判断することができる。

倫理，政治・経済

問 6 下線部①に関連して，1999年に制定された国会審議活性化法により，国務大臣を補佐する役職として新たに設けられたものとして最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 31

- ① 政務次官
- ② 事務次官
- ③ 審議官
- ④ 副大臣

問 7 下線部②に関連して，日本における国民の司法参加や司法制度改革についての記述として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① 検察官による不起訴処分の当否を審査する組織として，有権者の中から選ばれた審査員から構成される検察審査会がある。
- ② 一定の刑事事件においては，裁判所の許可の下に，被害者やその家族が法廷に出席して，自らの心情や量刑についての意見を述べることができる。
- ③ 刑法や刑事訴訟法が改正され，殺人罪など法定刑の上限が死刑である犯罪について，公訴時効が廃止された。
- ④ すべての裁判の第一審において，有権者の中から選ばれた裁判員が裁判に参加する裁判員制度が実施されている。

(下書き用紙)

倫理，政治・経済の試験問題は次に続く。

第6問 次の文章を読み，下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 18)

第二次世界大戦で大きな打撃を受けた日本経済は，政府の経済再建政策による基幹産業の復興や，朝鮮戦争によりもたらされた特需景気により，1950年代初めには鉱工業生産が戦前の水準に回復した。そして，1950年代半ば以降は驚異的な㉑高度経済成長を実現し，先進工業国の仲間入りを果たした。しかし，高度経済成長は，経済的豊かさをもたらしたものの，そのひずみとして㉒農業問題や㉓公害問題など，さまざまな課題を生んだ。

その後，1971年のニクソン・ショックと1973年の第一次石油ショックを契機として，日本の高度経済成長は終わりを告げた。石油ショックにより，日本は他の先進工業国と同様，深刻な経済的苦境に直面したが，他の先進工業国に先駆けて㉔産業構造の転換を図り，輸出を伸ばした結果，安定成長を実現することができた。しかし，1985年のプラザ合意後にとられた金融緩和政策などによってバブル経済が発生し，それが崩壊した1990年代初頭以降，日本経済は㉕長期にわたる不況に陥った。

2002年になって日本経済はようやくこの長期の不況から抜け出し，その後，㉖戦後最長の景気拡大が続いた。しかし，2008年に経済状況は後退局面に入り，とくに，同年に発生した世界的な金融危機は，日本経済にも大きな打撃を与えた。こうした状況の中で，日本は㉗デフレからの脱却と持続可能な経済成長の実現を求めて模索を続けている。

問 1 下線部㉔についての記述として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① 好景気が，いざなぎ景気，神武景気，岩戸景気，オリンピック景気の順に生じた。
- ② パソコンや携帯電話などが一般家庭に急速に普及した。
- ③ 民間企業の設備投資資金は，主に直接金融により賄われた。
- ④ 1ドル＝360円の為替レートが輸出に有利に働いた。

問 2 下線部㉕に関連して，日本の農業をめぐる1990年代以降の動向についての記述として誤っているものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- ① 食料の安定供給の確保，農業の多面的機能の発揮，農業の持続的発展，農村の振興の四つを基本的理念とする食料・農業・農村基本法が制定された。
- ② 農業生産者が加工や販売も手がける農業の6次産業化が進められている。
- ③ 農地法が改正され，株式会社が農地を借り受けることができなくなった。
- ④ 供給熱量自給率は40%前後で推移している。

問 3 下線部㉖に関連して，戦後の公害をめぐる訴訟や政府の公害・環境保全対策についての記述として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

35

- ① 新潟水俣病訴訟では，原告である被害者側が敗訴した。
- ② 大阪空港公害訴訟において，最高裁判所は航空機の夜間の離着陸に対する差止請求を認めた。
- ③ 汚染物質の排出規制として濃度規制が採用されているが，総量規制は導入されていない。
- ④ 環境基本法では，大気汚染，水質汚濁，土壌汚染，騒音，振動，地盤沈下，悪臭の七つを公害と規定している。

倫理，政治・経済

問 4 下線部㊤に関連して，第一次石油ショック後の日本の産業構造の変化を述べたものとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 36

- ① 軽工業から重化学工業への転換
- ② 資源・エネルギー多消費型産業から省資源・省エネルギー型産業への転換
- ③ 軽薄短小型産業から重厚長大型産業への転換
- ④ 労働集約型産業から資本集約型産業への転換

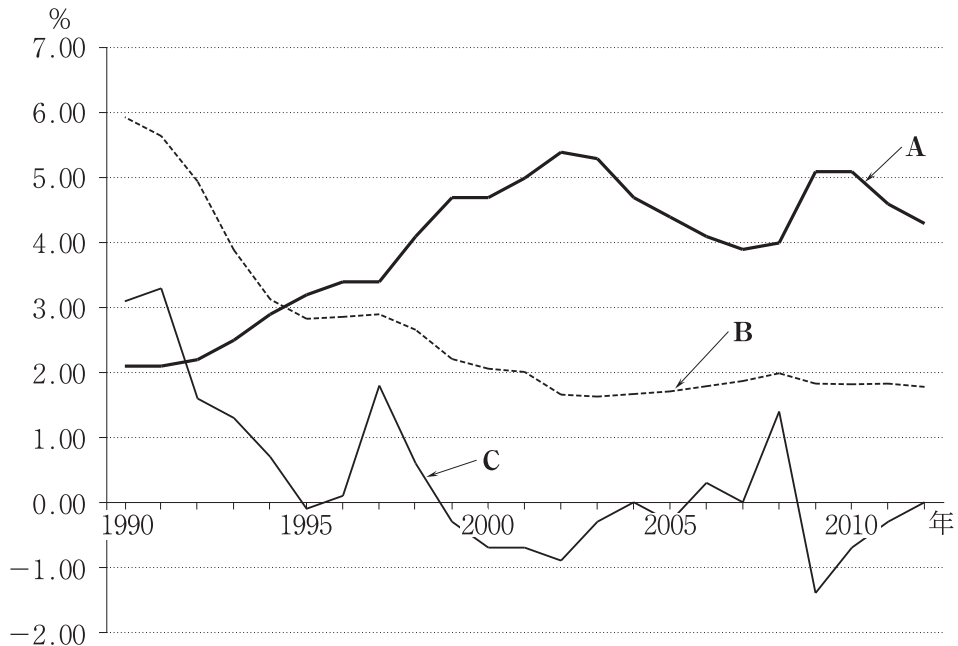
問 5 下線部㊤の不況期についての記述として誤っているものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 37

- ① 銀行が融資に慎重になったため，中小企業の資金調達が困難になった。
- ② 企業は，不採算部門からの撤退，人員削減などのリストラを進めた。
- ③ 第二次世界大戦後，初めてのマイナス成長を記録した。
- ④ 大量の不良債権を抱えた金融機関が経営破綻する例がみられた。

問 6 下線部㊤の景気拡大期にみられた日本経済の動向についての記述として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 38

- ① 一般会計の歳入が増加し，赤字国債の発行がゼロとなった。
- ② 消費税の税率の引下げに伴う家計消費の拡大が景気拡大を主導した。
- ③ 派遣労働者などの非正規労働者の失業や貧困が社会問題化した。
- ④ 高度経済成長期を上回る高い実質経済成長率を記録した。

問7 下線部⑧に関連して，次の図は，1990年代以降の日本の物価上昇率，完全失業率，賃上げ率の推移を示したものである。図中のA～Cの組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 39



(注) 賃上げ率は春闘における主要企業の賃上げ率(加重平均)で，厚生労働省調べ。物価上昇率は消費者物価の上昇率。

(資料) 内閣府『平成25年版 経済財政白書』により作成。

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| ① A — 物価上昇率 | B — 完全失業率 | C — 賃上げ率 |
| ② A — 物価上昇率 | B — 賃上げ率 | C — 完全失業率 |
| ③ A — 完全失業率 | B — 物価上昇率 | C — 賃上げ率 |
| ④ A — 完全失業率 | B — 賃上げ率 | C — 物価上昇率 |
| ⑤ A — 賃上げ率 | B — 物価上昇率 | C — 完全失業率 |
| ⑥ A — 賃上げ率 | B — 完全失業率 | C — 物価上昇率 |

3 2科目受験者の試験の進行方法について(2科目受験者のみ確認)

- ① 先に解答する科目を「第1解答科目」、後に解答する科目を「第2解答科目」とし、それぞれの解答用紙に記入しなさい。解答する科目及び順序は、志望する大学の指定に基づき、各自で決めなさい。
 - ② 第1解答科目、第2解答科目ともに解答時間は60分です。60分で1科目だけを解答しなさい。
 - ③ 第1解答科目の後に、答案を回収する時間などを設けてありますが、休憩時間ではありませんので、問題冊子や参考書などを開いてはいけません。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、10 と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように**解答番号10の解答欄の③**にマークしなさい。

(例)

解答番号	解	答	欄
10	①	②	● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

- 6 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。

問題を解く際には、「問題」冊子にも必ず自分の解答を記録し、試験終了後に配付される「学習の手引き」にそって自己採点し、再確認しなさい。